

保護者アンケートの集計結果報告

保護者アンケートの集計結果報告 目次

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
(1) 調査対象及び調査内容	2
(2) 対象者の抽出方法	2
(3) 調査方法	2
(4) 調査期間	2
3. アンケート回収結果	3
4. 集計にあたって	3
5. 集計結果	4
(1) 小学校対象の学年別進学・選択する中学校の集計	4
(2) 小学校対象の通学区域別進学・選択する中学校の集計	5
6. 推計	6
7. 様式別集計結果	7
(1) 【金杉台中学校在籍】(様式 A：中学校対象) 集計結果	7
(2) 【御滝中学校在籍】(様式 A：中学校対象) 集計結果	10
(3) 様式 B：金杉台小学校対象	14
(4) 様式 C：周辺小学校対象	21
8. 自由記述	28
(1) 【金杉台中学校在籍】(様式 A：中学校対象)	28
(2) 【御滝中学校在籍】(様式 A：中学校対象)	33
(3) 【金杉台小学校在籍】(様式 B：金杉台小学校対象)	38
(4) 【高根小学校在籍】(様式 C：周辺小学校対象)	46
(5) 【金杉小学校在籍】(様式 C：周辺小学校対象)	47
(6) 【三咲小学校在籍】(様式 C：周辺小学校対象)	49
(7) 【二和小学校在籍】(様式 C：周辺小学校対象)	49
(8) 【法典東小学校在籍】(様式 C：周辺小学校対象)	52
《参考》アンケート様式	53
(1) 様式 A：中学校対象	54
(2) 様式 B：金杉台小学校対象	58
(3) 様式 C：周辺小学校対象	64
(4) パンフレット	70

保護者アンケートの集計結果報告

1. 調査の目的

現在中学校に在籍する生徒及び今後中学校入学を控える児童の保護者が、中学校入学に際し、どのような理由で学校を選択した（する）のか等について率直な意見を聞き、重視する教育環境を把握し、御滝中学校との統合を視野に入れた今後の検討の資料とする。

2. 調査方法

(1) 調査対象及び調査内容

対象者（小学生・中学生）の別や通学区域の状況を考慮し、アンケートは次の3種類作成した。

①金杉台中学校全生徒及び御滝中学校を選択※して通学している生徒の保護者（※選択地域に居住する者及び通学指定校申請者に限る）

様式A『金杉台中学校及び御滝中学校の選択理由に関するアンケート』

②金杉台小学校に在籍する4～6年生の保護者

様式B『中学校進学に関するアンケート』

③周辺小学校のうち金杉台中学校を選択できる地域に居住する4～6年生の保護者

様式C『中学校進学に関するアンケート』

(2) 対象者の抽出方法

学務課の学齢簿システムを使い抽出（8月1日現在）

(3) 調査方法

各学校を通じて配付・回収（一部直接郵送にて提出あり）

(4) 調査期間

令和元年9月13日（金）～9月27日（金）（予備日9月30日）

3. アンケート回収結果

- 対象者 813 人に対し、648 人から回答があり、回答率は 80%であった。
- 中学校の回答率は 66%、小学校の回答率は 90%であった。
- 様式別、学校別の対象者及びアンケートの回収数・回収率は次表のとおり。

総計	対象者	回収数	回収率
		813	648
中学校計(様式A)	353	234	66%
小学校計(様式B・C)	460	414	90%
様式A	対象者	回収数	回収率
金杉台中学校	57	37	65%
御滝中学校	296	197	67%
計(様式A)	353	234	66%
様式B	対象者	回収数	回収率
金杉台小学校	144	117	81%
計(様式B)	144	117	81%
様式C	対象者	回収数	回収率
高根小学校	35	29	83%
金杉小学校	80	72	90%
三咲小学校	7	6	86%
二和小学校	153	152	99%
法典東小学校	41	38	93%
計(様式C)	316	297	94%

4. 集計にあたって

- 兄弟姉妹など 1 家庭に対象となる児童生徒が複数いる場合、それぞれに用紙を配付している。
- 設問に対する回答数 (N) は別途記載する。
- 回答の比率 (%) は、その設問の回答数 (N) を基数として算出し、小数点第 1 位を四捨五入してある。このため、数値の合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問については、合計が 100%を上回る場合がある。

- 様式 A、B、C の3種類のアンケートをクロス集計する際、各様式に共通していない項目については、回答数や回答の比率を省略した。このため、合計が100%に満たない場合がある。
- 様式 A、B、C の3種類のアンケートの設問・項目について、対象に応じて一部選択肢表記が異なる場合があるが、設問・項目を集計している。

5. 集計結果

アンケートの様式別の統計的な集計結果は「7. 様式別集計結果」にまとめた。なお中学校を対象とした様式 A については、在籍校別に集計した。

様式ごとの集計結果を分析したもの（クロス集計）は以下のとおり。

また、各様式に共通している自由記述については、在籍校別に「8. 自由記述」にまとめた。

(1) 小学校対象の学年別進学・選択する中学校の集計

小学校を対象とした様式 B 及び様式 C において、学年別の進学・選択する中学校の集計結果は次のとおりであった。

進学・選択先	4年生	5年生	6年生	学年 未回答	計	%
金杉台中学校	15	12	14	0	41	10%
御滝中学校	102	94	86	2	284	69%
旭中学校	6	10	11	1	28	7%
私立中学校など (上記以外)	6	5	3	0	14	3%
わからない、これから 考える	13	13	5	0	31	7%
(未回答)	5	6	3	2	16	4%
計	147	140	122	5	414	100%

(2) 小学校対象の通学区域別進学・選択する中学校の集計

小学校を対象とした様式B及び様式Cにおいて、通学区域別（指定学区又は選択地域）の進学・選択する中学校の集計結果は次のとおりであった。

進学・選択先	指定学区		選択地域		計	
	人	%	人	%	人	%
金杉台中学校	17	52%	24	8%	41	12%
御滝中学校	16	48%	268	84%	284	80%
旭中学校			28	9%	28	8%
計	33	100%	320	100%	353	100%

※指定学区は旭中学校の選択肢はない

（備考）

- ・ 小学校4～6年生の合計人数を集計。
- ・ 進学・選択先について、金杉台中学校、御滝中学校、旭中学校の回答のみを集計。（上記以外の私立中学校や現時点で未定、未回答者数を除く）

6. 推計

これは、教育総務課が作成する令和元年5月1日現在の推計である。

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	15	1	19	1	24	3	58
	3	1	25	1	15	1	19	3	59
	4	1	20	1	25	1	15	3	60
	5	1	15	1	20	1	25	3	60
	6	1	17	1	15	1	20	3	52
	7	1	19	1	17	1	15	3	51
	8	1	12	1	19	1	17	3	48
	9	1	13	1	12	1	19	3	44
	10	1	11	1	13	1	12	3	36
	11	1	7	1	11	1	13	3	31
	12	1	9	1	7	1	11	3	27
	13	1	9	1	9	1	7	3	25

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

アンケートの集計結果を反映した場合の推計は次のとおりとなる。

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	14	1	19	1	24	3	57
	3	1	12	1	14	1	19	3	45
	4	1	15	1	12	1	14	3	41

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

※令和2年度～4年度の1年生の生徒数を反映

(備考)

- ・小学校4～6年生の進学・選択先について、金杉台中学校の回答者数を反映。
- ・私立中学校ほかへの進学や現時点で未定、未回答者数は除く。

7. 様式別集計結果

(1) 【金杉台中学校在籍】（様式 A：中学校対象） 集計結果

Q1. お子様の在籍校・学年・出身小学校について、該当するものに○を付けてください。【金杉台中学校在籍】

(N= 37)

		回答数	%
学年	1年生	14	38%
	2年生	13	35%
	3年生	10	27%
	(未回答)	0	0%

(N= 37)

		回答数	%
出身小学校	金杉台小学校	33	89%
	高根小学校	0	0%
	金杉小学校	2	5%
	三咲小学校	0	0%
	二和小学校	1	3%
	法典東小学校	0	0%
	その他	1	3%
	(未回答)	0	0%

Q2. お住まいの住所は以下のどちらに該当しますか。該当する住所の回答欄に○を付けてください。【金杉台中学校在籍】

(N= 37)

		回答数	%
指定学区（金杉4丁目ほか）		21	57%
選択地域（金杉1～3丁目ほか）		16	43%
上記以外		0	0%
(未回答)		0	0%

Q3. 中学校へ進学するにあたり、その中学校を選んだ理由や重視した点について、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【金杉台中学校在籍】

(N= 37) ※複数回答

	回答数	%	上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	29	78%	①
様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	19	51%	②
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	17	46%	③
意見や感想を発表する機会が多い	16	43%	④
自宅からの通学距離が近い	15	41%	⑤
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	10	27%	
兄・姉が在籍している、していた	6	16%	
多くの先生が多様な視点で見てくれる	5	14%	
家族や知人のすすめがあった	3	8%	
クラス替えがない	2	5%	
部活動の選択肢が多い	2	5%	
多様な意見や感想にふれられる機会が多い	1	3%	
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	1	3%	
特にない	1	3%	
クラス替えがある	0	0%	
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある	0	0%	
その他	8	22%	

※その他（自由記述）8件

- ・金杉台中学区だったから
- ・決められた学区で通わせることに特に抵抗がなかった。本人の意思を尊重した。
- ・給食がおいしい

- 少人数でお互いを理解できることで、不用なトラブルを避けられる。
- 先生方、カウンセラーなど相談しやすい。
- 先生との距離が近く先生と意見交換やコミュニケーションを図る機会が多いと期待できたため
- 選択学区ではないため
- 選択できなかった。金杉台中指定学区のため

Q4. 進学した中学校について、考え始めた時期（意識し始めた時期）はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【金杉台中学校在籍】

(N= 37)

	回答数	%
小学校入学前から	2	5%
小学校1・2年生	3	8%
小学校3・4年生	3	8%
小学校5・6年生	23	62%
覚えていない	2	5%
特に考えていない	4	11%
その他	0	0%
(未回答)	0	0%

※その他（自由記述）0件

Q5. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。
『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。（自由記述）
【金杉台中学校在籍】

(N= 25)

※自由記述 25件は、「8. 自由記述(1)」に掲載しています。

(2) 【御滝中学校在籍】（様式 A：中学校対象） 集計結果

Q1. お子様の在籍校・学年・出身小学校について、該当するものに○を付けてください。【御滝中学校在籍】

(N= 197)

		回答数	%
学年	1年生	81	41%
	2年生	63	32%
	3年生	52	26%
	(未回答)	1	1%

(N= 197)

		回答数	%
出身小学校	金杉台小学校	48	24%
	高根小学校	23	12%
	金杉小学校	34	17%
	三咲小学校	3	2%
	二和小学校	78	40%
	法典東小学校	0	0%
	その他	10	5%
	(未回答)	1	1%

Q2. お住まいの住所は以下のどちらに該当しますか。該当する住所の回答欄に○を付けてください。【御滝中学校在籍】

(N= 197)

	回答数	%
指定学区（金杉4丁目ほか）	21	11%
選択地域（金杉1～3丁目ほか）	166	84%
上記以外	8	4%
(未回答)	2	1%

Q3. 中学校へ進学するにあたり、その中学校を選んだ理由や重視した点について、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【御滝中学校在籍】

(N= 196) ※複数回答

	回答数	%	上位5
部活動の選択肢が多い	115	59%	①
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	94	48%	②
自宅からの通学距離が近い	85	43%	③
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	75	38%	④
兄・姉が在籍している、していた	58	30%	⑤
多様な意見や感想にふれられる機会が多い	43	22%	
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある	38	19%	
クラス替えがある	36	18%	
多くの先生が多様な視点で見えてくれる	28	14%	
家族や知人のすすめがあった	10	5%	
特にない	6	3%	
クラス替えがない	2	1%	
意見や感想を発表する機会が多い	2	1%	
様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	1	1%	
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	0	0%	
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	0	0%	
その他	24	12%	

※その他（自由記述）24件

- ・12歳というこの年齢だからこそ、新しい友人との出会いを経験させたかった。
- ・1学級しかない学校は考えられません。
- ・2校を選択するという考えは最初からなく、御滝中への進学が当然のような感じていました。

- H27 時点で学校評価が良かった
- 新しい友達を作りたい
- 学区が御滝中のため
- 金杉台中学校に魅力を感じない
- 金杉台中は少数の人しかいないので、つまらない中学校生活になる。行事等がつまらない。
- 金杉台中は人数が少ないので、つまらない学校生活になると思ったから
- 金杉方面に全くなじみがなかったため。御滝中学校しか考えられなかった。
- 希望する部活動があった
- 決まっていたため
- 嫌いな子と同じ中学に行きたくなかったから。生徒数が多いから。
- 指定学区と思っていた。一応選ぶことができるという認識でした。
- 自分の母校のため
- 自分の母校のため
- 小学校が少人数だったので中学は大きな中学へ行かせたかった。
- 小学校の同級生も皆いくから
- 知らない。子供が選んだ。
- 先生達がとてもしっかりしている
- 通学するのに大通りで通うことができる。人通りが少ないのは遅くなったとき心配。
- 通学するのに大通りではなく女の子は通わせたくないと思った。部活で遅くなる。また場所も知らない。
- 転居のため
- バトミントン部があったため進学

Q4. 進学した中学校について、考え始めた時期（意識し始めた時期）はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【御滝中学校在籍】

(N= 197)

	回答数	%
小学校入学前から	36	18%
小学校1・2年生	6	3%
小学校3・4年生	13	7%
小学校5・6年生	72	37%
覚えていない	7	4%
特に考えていない	53	27%
その他	8	4%
(未回答)	2	1%

※その他（自由記述）8件

- ・きょうだいが通学していたため
- ・金杉台中へ入学してから
- ・越してきたばかりで考え始めた時期はなし
- ・知らない
- ・既に指定だったと思う
- ・通学に近かったから
- ・転居してきたため
- ・引っ越したとき

Q5. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。(自由記述)

【御滝中学校在籍】

(N= 54)

※自由記述 54 件は、「8. 自由記述(2)」に掲載しています。

(3)様式B：金杉台小学校対象 集計結果

Q1. お子様について該当するものに○を付けてください。【金杉台小学校】

(N= 117)

		回答数	%
学年	4年生	44	38%
	5年生	41	35%
	6年生	29	25%
	(未回答)	3	3%

Q2. 通学区域には、住所により、『①金杉台中学校に指定されている地域』と、『②金杉台中学校又は御滝中学校を選択できる地域』があります。お住まいの住所は①又は②のどちらに該当しますか。該当する住所の回答欄に○を付けてください。【金杉台小学校】

(N= 117)

	回答数	%
①指定学区（金杉4丁目ほか）	47	40%
②選択地域（金杉1～3丁目ほか）	67	57%
(未回答)	3	3%

Q3-1. (この質問は、Q2の『①指定学区』に該当する方にお聞きします。) 通学指定校変更制度※を知っていますか。該当する番号に○を付けてください。【金杉台小学校】

(N= 47)

	回答数	%
知っている	43	91%
知らない	4	9%
(未回答)	0	0%

Q3-2. (この質問は、Q2の『①指定学区』に該当する方にお聞きします。) 通学指定校変更の申請をしたいとお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【金杉台小学校】

(N= 47)

	回答数	%
申請せず、金杉台中学校へ進学したいと考えている	17	36%
申請し、御滝中学校へ進学したいと考えている	16	34%
申請せず、私立中学校など(金杉台中学校、御滝中学校以外)へ進学したいと考えている	1	2%
わからない、これから考える	10	21%
(未回答)	3	6%

Q4. (この質問は、Q2の『②選択地域』に該当する方にお聞きします。) 進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【金杉台小学校】

(N= 67)

	回答数	%
今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている	19	28%
今のところ御滝中学校を選択したいと考えている	39	58%
私立中学校など(金杉台中学校、御滝中学校以外)へ進学したいと考えている	3	4%
わからない、これから考える	4	6%
(未回答)	2	3%

【Q3-2、Q4. 進学・選択する中学校の集計結果】進学・選択する中学校について、現時点でどうお考えですか。【金杉台小学校】

(N= 114)

	回答数	%
金杉台中学校へ進学・選択したいと考えている	36	32%
御滝中学校へ進学・選択したいと考えている	55	48%
私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校以外）へ進学したいと考えている	4	4%
わからない、これから考える	14	12%
（未回答）	5	4%

【Q5-1. 金杉台中学校へ進学・選択】金杉台中学校を選択した理由として、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【金杉台小学校】

(N= 36) ※複数回答

	回答数	%	上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	27	75%	①
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	24	67%	②
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い	19	53%	③
自宅からの通学距離が近い	15	42%	④
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	12	33%	⑤
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	11	31%	
兄・姉が在籍している、していた	10	28%	
クラス替えがない	8	22%	
家族や知人のすすめがあった	5	14%	
通学する学校として決まっている	5	14%	
先生が多いから、多様な視点で見てくれる	3	8%	
生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い	1	3%	
特にない	1	3%	
クラス替えがある	0	0%	
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある	0	0%	
部活動の選択肢が多い	0	0%	
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	0	0%	
その他	7	19%	

※その他（自由記述）7件

- ・きょうだいも行くから。
- ・御滝中学校ではいじめが多いと聞いたので金杉台中学校にしました

- 親としては本人の希望する方に進むのがよいと考えている。家から近いのは御滝。大きな、小さな、学校それぞれに長短があるので。きょうだいがいるので、金杉台中に行けば本人と小学生のきょうだいで「一緒に運動会出られる！」と期待しているようです。
- 今まで小学校で、何か気になることがあったらすぐに先生と面談し、信頼関係を作ってきました。金杉台小もそれほど規模が大きくないのでほぼ全ての先生、生徒がなんとなくうちの子のことを知ってくれているという安心感も大きかった。子供が保育園の頃から御滝中に行かせたいと思ったことはありません。なんとなくですが、校風が合わないかなとも感じています。
- 人見知りだから
- 武道場があるのがよい。剣道をやっているため。
- 母校なので子供にも通って欲しいと思っている。

【Q5-2. 御滝中学校へ進学・選択】御滝中学校を選択した理由として、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【金杉台小学校】

(N= 55) ※複数回答

	回答数	%	上位5
部活動の選択肢が多い	37	67%	①
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	32	58%	②
生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い	25	45%	③
自宅からの通学距離が近い	23	42%	④
兄・姉が在籍している、していた	20	36%	⑤
クラス替えがある	18	33%	
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある	18	33%	
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	16	29%	
先生が多いから、多様な視点で見てくれる	8	15%	
通学する学校として決まっている	4	7%	
家族や知人のすすめがあった	3	5%	
クラス替えがない	0	0%	
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	0	0%	
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	0	0%	
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い	0	0%	
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	0	0%	
特にない	0	0%	
その他	1	2%	

※その他（自由記述）1件

・いじめっこがいる所には行きたくない。

Q6. (この質問以降は、全員の方を対象にお聞きします。) 進学する中学校について、考え始めた時期(意識し始めた時期)はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【金杉台小学校】

(N= 117)

	回答数	%
小学校入学前から	24	21%
小学校1・2年生	12	10%
小学校3・4年生	45	38%
小学校5・6年生	23	20%
特に考えていない	9	8%
その他	0	0%
(未回答)	4	3%

※その他(自由記述)0件

Q7. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。
『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。(自由記述)

【金杉台小学校】

(N= 48)

※自由記述48件は、「8. 自由記述(3)」に掲載しています。

(4)様式 C：周辺小学校対象 集計結果

Q1. お子様について該当するものに○を付けてください。【周辺小学校】

(N= 297)

		回答数	%
在籍校	高根小学校	29	10%
	金杉小学校	72	24%
	三咲小学校	6	2%
	二和小学校	152	51%
	法典東小学校	38	13%
	(未回答)	0	0%

		回答数	%
学年	4年生	103	35%
	5年生	99	33%
	6年生	93	31%
	(未回答)	2	1%

Q2. 通学区域には、住所により、『①金杉台中学校又は御滝中学校の2校から選択できる地域』と、『②金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校の3校から選択できる地域』があります。お住まいの住所は①又は②のどちらに該当しますか。該当する住所の回答欄に○を付けてください。【周辺小学校】

(N= 297)

	回答数	%
①2校から選択できる地域（金杉1～3丁目ほか）	253	85%
②3校から選択できる地域（金杉町890ほか）	43	14%
(未回答)	1	0%

Q3. (この質問は、Q2の『①金杉台中学校又は御滝中学校の2校から選択できる地域』に該当する方にお聞きします。) 進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

【周辺小学校】

(N= 253)

	回答数	%
今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている	5	2%
今のところ御滝中学校を選択したいと考えている	218	86%
私立中学校など(金杉台中学校、御滝中学校以外)へ進学したいと考えている	9	4%
わからない、これから考える	14	6%
(未回答)	7	3%

Q4. (この質問は、Q2の『②金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校の3校から選択できる地域』に該当する方にお聞きします。) 進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【周辺小学校】

(N= 43)

	回答数	%
今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている	0	0%
今のところ御滝中学校を選択したいと考えている	11	26%
今のところ旭中学校を選択したいと考えている	28	65%
私立中学校など(金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校以外)へ進学したいと考えている	1	2%
わからない、これから考える	3	7%
(未回答)	0	0%

【Q3、Q4. 進学・選択する中学校の集計結果】進学・選択する中学校について、現時点でどうお考えですか。【周辺小学校】

(N= 296)

	回答数	%
今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている	5	2%
今のところ御滝中学校を選択したいと考えている	229	77%
今のところ旭中学校を選択したいと考えている	28	9%
私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校以外）へ進学したいと考えている	10	3%
わからない、これから考える	17	6%
（未回答）	7	2%

【Q5-1. 金杉台中学校へ進学・選択】金杉台中学校を選択した理由として、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【周辺小学校】

	(N= 5) ※複数回答		
	複式回答	回答数	% 上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる		4	80% ①
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い		4	80% ①
兄・姉が在籍している、していた		2	40% ③
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる		2	40% ③
親しい友達と同じ中学校へ行きたい		1	20% ⑤
自宅からの通学距離が近い		1	20% ⑤
家族や知人のすすめがあった		1	20% ⑤
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある		1	20% ⑤
クラス替えがない		0	0%
クラス替えがある		0	0%
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある		0	0%
部活動の選択肢が多い		0	0%
先生が多いから、多様な視点で見てくれる		0	0%
生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い		0	0%
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる		0	0%
特にない		0	0%
その他		1	20% ⑤

※その他（自由記述）1件

- ・きょうだいが行っており、小学校で多かったいじめの問題がなくなった

【Q5-2. 御滝中学校へ進学・選択】御滝中学校を選択した理由として、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。【周辺小学校】

(N= 229) ※複数回答

	回答数	%	上位5
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	159	69%	①
部活動の選択肢が多い	128	56%	②
自宅からの通学距離が近い	118	52%	③
兄・姉が在籍している、していた	85	37%	④
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	77	34%	⑤
生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い	64	28%	
体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある	29	13%	
クラス替えがある	28	12%	
先生が多いから、多様な視点で見られる	11	5%	
家族や知人のすすめがあった	6	3%	
特になし	5	2%	
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	2	1%	
クラス替えがない	1	0%	
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	0	0%	
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い	0	0%	
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	0	0%	
その他	13	6%	

※その他（自由記述）13件

- ・1学年1学級しかなく、しかもクラス20人程しかいない学校は閉鎖的に思えて、子供の成長にプラスとならないと考える。もともと町や村の子供の数が少ないのなら仕方ないと思うが、金杉台中はそうではない。なので子供を行かせたくない。

- 以前 PTA 本部をやっていて、その仕事をまた引き継ぐ予定なので
- 演劇部があるため
- 金杉台小がずっと 1 クラスで仲間意識が高い所に他校から入学させるのはきびしいと思います。
- 金杉台中と御滝中の 2 校の選択しかないので、少ないより多い人数で学べた方が良くと思う。
- 子供本人が御滝中に行きたいと強く希望している。
- 就学すべき学校の区域だから
- 先生の指導も良く、生徒もまじめな子が多いと聞くから
- 通学距離、児童数ともに丁度良いところがないのでいたしかたなく。金杉台中学校を選択後、在学中又はきょうだい在学中に御滝に代わることになる制と制服やその他もろもろ面倒だから。
- 通学路が安全な道だから
- 人気がありそうだったから
- 評判は悪いが一番近いから。もし近く（同じ距離）で評判の良い中学があったらそこを選んだ。
- 両親共御滝中のため

Q6. (この質問以降は、全員の方を対象にお聞きします。) 進学する中学校について、考え始めた時期(意識し始めた時期)はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。【周辺小学校】

(N= 297)

	回答数	%
小学校入学前から	91	31%
小学校1・2年生	28	9%
小学校3・4年生	52	18%
小学校5・6年生	48	16%
特に考えていない	67	23%
その他	6	2%
(未回答)	5	2%

※その他(自由記述)6件

- ・家を購入したときに、二和小、御滝中に通うと思っていたから。
- ・御滝中だと思っていた。
- ・きょうだいがいたため進学する中学校は御滝中と自然に思っていた。
- ・きょうだいが行っているのでそのつもりでした。
- ・私立を考え中
- ・引っ越しをしたとき

Q7. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。(自由記述)

【周辺小学校】

(N= 63)

※自由記述63件は、「8. 自由記述(4)~(8)」に掲載しています。

8. 自由記述

設問（全ての様式共通）. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。

自由記述については、個人情報やデリケートな内容、調査の目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表することとしております。

このため、以下のとおり、在籍する学校別に自由記述をとりまとめいたしました。一部、配慮を要すると考えられる記載内容については、修正又は一部削除等していますので、ご了承ください。

また、記載内容の中で、お子さんの発達障害に関する記述が2件ございました。

2件はどちらも、「軽度の発達障害（グレーゾーン）をもつ生徒にとっては、金杉台中学校は少人数であるため、学校内での情報共有により、先生の援助などが得られやすい学校だが、御滝中学校は生徒数が多いため不安である。」という主旨でした。

(1) 【金杉台中学校在籍】（様式A：中学校対象）

①少人数制の学校の方が充実した学校生活ができる子もいます。義務教育であるならば、そういう子供たちが行く場所を作るべきだと思う。

②金杉台中学校が少人数になった原因は、金杉台団地の人口構成の変化だと思うが、その上、学区域の見直しをしてこなかったことと、学区域内の子を、部活を理由に御滝中に流したことだと思います。御滝中がキャパオーバーになった以上、学区域の変更や部活を理由にした御滝中への変更の許可はしなければいいのでは。

日本の子供が減っている以上、学校を減らしていくのは分かります。だからといって、1校に子供たちを押し込めるのは間違っていると思います。そして、今の先生方が大人数での生徒を見るのは限界なのではないですか。どちらにしてもメリット、デメリットはあるけど、義務教育であるなら、子や親が選択できる環境を作ってください。

アンケートの目的がわからない。

このまま、金杉台中学校希望。

<p>コミュニケーションが苦手で、あえて少人数の学校を選びました。大人数の学校では埋もれてしまうか、トラブルになり不登校になっていたかもしれません。同じ様な子供たちも多くいると思います。現在元気に通っています。子供の可能性を無くさないでほしい。</p> <p>きょうだいも、御滝中に通っていたとき、無断で休んだときに親に連絡がなく、2回目に親は気が付きましたが、そのときも連絡がありませんでした。信頼できない先生に子供を預けたくありません。(同じ先生がまだいるのかは不明です。ほかに良い先生もおられました。)</p>
<p>もし残すのであれば、しっかりと学区を分け選択地域をなくしてほしいと思います。</p>
<p>金杉台中は先生との距離が近く、子供たちは先生との信頼も厚く、良いコミュニケーションを図れています。統合により大人数に埋もれてしまう子や目の届かない子供が増えてしまうことに恐怖さえ覚えてしまいます。ぜひ見直しをお願いしたいです。</p> <p>部活を理由に御滝に入学した子も一部続かず部活を辞めていると聞いています。指定学区を変更するなどして金杉台中への入学人数を増やすのが得策と考えますし、ぜひご検討いただきたく強く希望します。</p>
<p>金杉台中学校を選択して本当に良かったと思っています。皆が主役で、頑張れ、その他大勢の中に埋没せず、自信を持って行動できるようになってきます。少人数の学校ならではの恩恵を享受させていただいています。</p>
<p>金杉台中学校を卒業したご家庭から制服のお下がりをいただくことになっています。どうか金杉台中学校をなくさないでください。</p>
<p>金杉台中指定学区があまりにも少なすぎると思います。選択学区であれば部活の多い御滝に多く進むのは当然のことであって、なぜ今更このような問題提起となるのか疑問です。</p> <p>もちろん少人数であることのメリットは多々あるかと思いますが、やはり平均的な人数での学校生活を送らせてあげたいと思うのが本音です。</p> <p>地域全体の子供の人数が少ないのではなく、すぐ近くの中学校との差が大きすぎます。金杉台指定学区を増やし統合を避けることはできないでしょうか。</p>
<p>御滝中へ統合するのではなく、御滝へ通っている子供？の学区を金杉台中へ(金杉小、高根小は金杉台へ)と決めればいいのかと思います。金杉台小と3校が金杉台中の学区と決まっていれば、2～3クラス程度にはなるのかな…と思います。金杉台中卒業生なので、なくなってしまうのは残念です。</p>

御滝中学校は人数が多すぎて先生の目が届いてない、届ききらないという話を聞きます。現在、収容もいっぱい、統合する意味がわかりません。理由内容が甘い選択地域を作っていることが、このようになってしまった原因の一つでは。部活動で中学校を選択して…。元々、固定学区にしてある程度の人数を確保すれば、部活動の種類も増えるのでは。御滝中の学区がバカみたいに広すぎると思います。選択区域を広げましたなんて人数の解決の方法にはまったくならないと思います。相当な理由がない限りは固定学区にしないと意味なし。固定学区を広げないと意味なしだと思います。

せっさたくま
切磋琢磨？では、御滝中の子供たちは840人みんなせっさたくま
切磋琢磨してるんでしょうか。人数が少ない状況でも、友達のすばらしい所を見つけ、尊敬し、お互いに
せっさたくま
切磋琢磨して過ごしております。先輩や先生との距離も近く、充実した中学校生活を過ごしております。確かにもう少し人数がいたら、また違うだろうと思う面もあります。でも大きい学校が全てではないと思います。大きいから、人数が多いからいい学校なんじゃないでしょうか。小さいながらのいい所があります。またそれがいいと金杉台中学校が大好きな子供たちがいて、また、その中学校に行きたいと思っている子供もいます。御滝中はね…と思っている子供、保護者がいるのも確かです。御滝中、金杉台中のそれぞれいい面、欠点があり、それも理解した上で通学している子供たちの学校をなくさないでいただきたいと思います。

統合ではなく、固定学区を広げ、部活動選択など甘い条件クリアで学区を変えることはなくして、人数を確保することを考え進めて下さい。

今後、学校がなくなった場合、金杉台団地の避難場所に指定している人たちのことも考えていってほしいです。よろしくお願いします。

子供が在籍中に統合はやめてください。

小中一貫校になるものだと思っていました。中一ギャップをなくすためにも一貫校にしても良いのでは。金杉台中が廃校になるのがわかっていて入学する人は多くないと思います。外堀を埋めて入学する人数を減らしているのではないですか。御滝中に統合するならば、お互いの子供たちの負担にならないようにランチルームなど設備など整えて欲しいと思います。

人数が少なすぎるのも、中学生時代の色々なことを吸収する時期に良くないか。多すぎてしまうのも、行き届かない面がある。きめ細かい指導は少人数ならでは、そこはメリットだと思う。他にはない部活ができたり他との差別化をすると金杉台中の良さが出ると思う。母校がなくなってしまう生徒の気持ちは。

<p>人数の減少は団地の中に学校があるので、金杉台中学校ができた頃から想像はできていたのではないのでしょうか。立派な校舎を他校との統合で解決される様に思うのは人数の問題だけになりそう。残された校舎はどうされるんですか。統合よりも、御滝中に通うより金杉台中の方が近い生徒もいると思います。中学校選択ですることで偏りが出てくると思います。学区で学校を決めれば人数も確保できるのではと思う。</p>
<p>正直、パンフレットの内容及びアンケートの取り方に失望しました。なぜなら、パンフレットには御滝中と金杉台中の比較を数値、グラフ化して、将来的に御滝中との統合をほのめかす様な内容であるからです。選択理由のアンケートを取って、また数値化で示す材料とするのですか。</p> <p>私は、御滝中学出身で、子供には金杉台中を選択させています。御滝中は母校なので、当然良い所も沢山知っておりますが、金杉台中の良さにもひかれ、子供に選択させております。実際入学して一生懸命校歌を覚え希望を持って入学した生徒達、少人数ながらも熱心に教えて下さる教師陣、選択区域であるが故の小学校高学年時での家族、本人、友達等の「学校選択の悩み」の上に最終的に「選択」していったという個人個人の気持ちも理解して下さい。</p> <p>将来的に統合という話があっても、アンケート等の「気持ちの見えない数値化」ではなく、母校に関わる人、及び近隣住民方々の「気持ちに寄り添った数値化」を目指して、パンフレットを作成していただきたいと思います。</p>
<p>他の学校よりも先生の質の低下があるのでは。小さい少ない学校なので、どうでもよかったのでしょうか。3年になって、数学のみ1年から同じ先生、理科退職、英語産休、国語3年から、社会と理科の先生は60歳以上。統合が近いのでどうでもよい？</p>
<p>中学校は決められた学区で通わせれば良いと思う。選択できるから人数に偏りが生じると思う。学区を固定してしまえば、多少人数の差が出たとしても今の様な状況は回避できたのではないか。金杉台中は他校では経験できないことも体験できる。人数が少なくてもデメリットな部分だけではない。統計だけで判断せず、やれることから試してみて、存続できる方向へお願いしたいと思う。</p>
<p>統合するにあたり御滝中の生徒が増えて、子供への配慮（いじめ、学習面など）をしてもらえるか心配。子供のための中学校なのだからしっかり配慮していただきたい。</p>
<p>統合については反対ではないのですが、大いに賛成とも言えません。双方の学校の良さを残していただきたい。先生方の数をもっと増やしていただきたいと望みます。</p>

統合には反対ですが、やむを得ない場合であれば、在学中の統合は、親も子供たちも心身ともにかなりの負担がかかると思います。在学中に統合があるならば、入学する前に前もってわかった上での入学でありますように、配慮していただきたく思います。

統合は絶対反対です。パンフレットの内容は今まで集会で話し合ってきたことと同じです。反対です。私たちの意見をちゃんと考慮してください。

両学校は人数に差がありすぎ、両校にメリット、デメリットがあると思います。1校に統合すれば更にパンク状態になると思います。選択できる地域をなくし、だいたい半分位の人数になるように分ければいいのでは…と思います。そもそも中学校を公立で選択できることに疑問を感じます。

良いと思う。

(2) 【御滝中学校在籍】（様式 A：中学校対象）

<p>「選択地域」が広すぎるので人数の多い御滝中に変更する子が多くなって金杉台中がどんどん減ってきているのではないのでしょうか。</p>
<p>1クラスしかないと高校に入ってからが心配なので親としてはたくさんの子達と出会いのある御滝中学校に行ってもらいたい。御滝中に行きたい子もいれば、金杉台中に行きたい子もいるので全てのエリアで選択できればいいのと思う。</p>
<p>1学年20名くらいで1クラスなら御滝中と統合した方がいいと思う。金杉台中学区でもどうにか理由をつけて御滝中に入学している人を何人も知っているの、それなら統合していいと思う。</p>
<p>20人前後しかいない中学校を存続させてる必要はないと感じる。なぜ今になってその議論をしているのか。このような状況になるのは前からわかっていたはず。遅い気がする。早く閉校にした方がいい。少ない人数だから、仲間外れとかになったら学校に行けなくなる。</p>
<p>きょうだいがいるのですが、今後中学に入ります。それなりに人数が多い小学校から急に少人数の学校に進学しろと言われても困ります。</p>
<p>これから御滝中入学者が増え、三咲小の様に増設するより、設備が整っている金杉台中を残すのもよいと思う。きちんと学区を線引きすれば、それなりに人は集まると思う。ただ、今のままでは人数が少なすぎるし、担当教科ではない先生が見るようでは魅力はない。</p> <p>少人数でも、1人1人を細かく見ているわけではない。代表を務める機会も一部の子が複数かけもちが多い。</p>
<p>こんなに金杉台中は人数が少ないとは知りませんでした。早く御滝中と統合してあげてほしいと思います。</p>
<p>みんな御滝中に行きたがっているので統合してしまってもいいと思う。</p>
<p>維持費等を考えても、統合した方が良く思う。</p>
<p>学区の選択地域をなくして、金杉台中学区と御滝中学区で、わけてしまえば、片方に偏ることがなくなるのではないのでしょうか。</p>
<p>学校の統合については、在校生、卒業生、地域の方々の視点で考えると、統合される金杉台中はスムーズには総合できないと思います。統合後は金杉台中はどのようになるのか、跡地はどのように活用されるのか。また、団地は今後どうなっていくのか、中学校を取り巻く将来像が見えないと統合の話はなかなか進まないのではないかと思います。地域の方を含めこの場が活性化されることを願っています。</p>
<p>学校の統合に賛成です。</p>

<p>学校を残すのであれば、選択させなければいい。先細りするのがわかっている、何もしてこなかった結果が今の金杉台中の生徒数に表れている。少し選択地域を増やしたところで、誰が入学したがるのか考えた方が良く。反対したところで、市では結果が出ているだろう、意味がない、時間と紙のムダ。</p>
<p>基本的には、統合に賛成です。多感な年齢だからこそ人数の多い人の中でもまれ、大人になるために必要な色々な感情を感じるべきと思っています。</p> <p>ただ、そこになじめない人というものがあると思うので金杉台中学校を残したいのなら学区にこだわらず、そういう人たちの受け入れの場になるのもいいのかと考えます。</p>
<p>教育委員会側が、統合したい意思が強く感じられる。少人数の良さもあるが、多人数の中で、様々な体験・経験を積むこともこの成長期に必要と感じる。</p>
<p>近所に家も多く建ちはじめ、金杉台中もなくなり御滝中に通学するようになると御滝中が人数が多くなりすぎると思う。統合はもっと人数が少なくなってからでいいと思う。</p>
<p>金杉台中が各学年3クラス位あったら金杉台中を選択したと思う。人数の差がありすぎて選択するのも時間がかかりました。なぜこんなになるまで放置してきたのか、もっと早い段階で動いていたら今の現状にはなっていなかったのでは…と思います。</p>
<p>金杉台中が人数が多く部活が多ければ、行く人は増えると思います。御滝にばかり集めても、教室はせまい、体育館は部活はいつも使えない、武道場がないなどもっと困ると思います。</p> <p>金杉台中の学区を選択にせず、もっと広げて、見直すことをした方がいいと思います。金杉台中をなくすのは反対します。御滝の場所が広くならない限り、不満しか出ないと思います。金杉台中の学区を早く広げてください。早い対応をしてほしいと思います。もう少し子供たちのことを考えて、進めてほしいと思います。役所の方はなくすことしか考えてないので無責任です。</p>
<p>金杉台中の生徒数は少なすぎると思いました。御滝中に卓球部を新設し、統合できたら良いと思います。</p>
<p>金杉台中は少人数なため、子供の悩みも多いのでは。</p>
<p>金杉台中は人数が少ないため、統合してもいいと思います。</p>
<p>金杉台中は早急に御滝中と合併すべきと思いました。全校数58人などでは刺激の少ない日常になり、守られすぎる学校生活を送りそうで良く思えません。これから色々な世界に飛び出す子供たち。早いうちから大人数の中でもまれ、あがき、考え、成長していくものだと思います。</p>
<p>金杉台中も人数が、もう少し多ければ選びたかったです。</p>

<p>金杉台中学の生徒数の少なさに驚きました。この人数なら御滝中と合併した方が良いと思いますが、金杉台中学の保護者の意見を重視し、進めないといけないと思います。御滝中の良さなどもアピールし、見学などする機会を設けたらどうでしょうか。</p>
<p>金杉台中学校の現状は今に始まった問題でないと思いますが、御滝中学校、金杉台中学校の学区の見直し、状況をしっかり見つめることで、今後先の先につながってくると思います。住宅が建つ地域、建たない地域で変わってきてしまう。現状、御滝中学校、金杉台中学校、お互いの中学校が活性化されることを祈っております。</p>
<p>金杉台中学校の指定学区を増やすことはできないのでしょうか。金杉台中学校の1学年がせめて3クラス位あればいいと思います。金杉台中の良い面をなくしてほしくないです。</p>
<p>金杉台中学校は、人数が少なすぎるので、存続させる必要性はないと思う。多様な考えに触れる機会がなく、高校等に進学した際、人間関係で苦労するのではと考える。人数が少ないが故に仲間外れとかになったらどうにもならなくなり子供が大変な思いをする。</p>
<p>金杉台中学校は、生徒数少なくなってしまうので、御滝中学校統合した方がよいと思います。1年生の教室が生徒数多いせいもありますが、とても狭く感じました。後は特に問題ないと思います。</p>
<p>金杉台中学校は小規模ですが、とても意義のある中学校だと思います。きょうだいは金杉台中へ行きとてもよかったです。でも、今御滝中に行っている子は他人関係を強化したく金杉台中ではなく御滝中に行きました。</p> <p>今「発達障害」といわれる障害のある時代にはとても有意義な中学だと考えます。が、今の指定校変更のシステムに問題があります。現に「人数」の差で金杉台中から御滝中に変更していった人たちを何人も見えています。今のシステムが変わらない限り御滝中への統合は残念ですがしかたのないことと考えます。行政にはもっとしっかりとしてほしかったです。</p>
<p>金杉台中学校への入学の地域を広げたらよいと思う。御滝中とどちらかを選んで決めるという地域をなくすといいと思います。</p>
<p>現状金杉台中がかなりの少人数で御滝中はマンモスという。隣り合わせでのこの差は大きい。マンモスは、マンモスの問題が多数ある。うまく均等にわけることが必要だと思う。</p>
<p>御滝中と金杉台中の統合は進めるべきだと思う。ただ、金杉台中の武道場を有効に使ったり、不足するであろう教室数を考えると、例えばであるが、部活動であったり、スクールバス等を検討し、支援学級を拡大するなど両校を有効的に使うことも考えてみたらどうかと思う。後はクラスが3クラス程度確保できるような金杉台中通学地域を設定し、部活動などが活発になる保障があるのであれば金杉台中に通う生徒も安定するのではないかと考える。</p>

<p>御滝中に卓球部を作って、御滝中に統合するのが自然の流れのような気がします。少人数の良い所もわかりますが、これから高校、大学、就職を考えると田舎でもない千葉県にいてわざわざ少ない(少なすぎる)ところに通わなくてもいいのではないかなと思います。</p>
<p>御滝中の学区が広すぎるので、格差が出るのでは。選択制ではなく子供たちの人数を把握し、指定学区を考えるとというのはできないのでしょうか。片寄るのはそういうことだと思います。せっかくすばらしい中学校が2校もあるのでぜひ活用していただきたいです。統合することは簡単なことです。残して生かすことも考えて下さい。よろしく願いいたします。</p>
<p>御滝中は人数も多く、先生が目が届いていないという現実からみると金杉台中と統合というよりも学区を分けて、生徒数を均等にすることが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>財政面で考えると統合はやむをえないと思うが子供の教育を考えると必ずしも統合が良いとは思わない。小規模の金杉台中の良さは、御滝中にはない。きめ細かな対応等は、御滝中の規模では望めないと思う。</p>
<p>小学校の同級生のいじめっ子やDQN親子がほとんど金杉台中へ行ったので、卒業するまで金杉台中を廃校にしないでほしい。</p>
<p>少人数により、対個人として、きめ細やかな指導ができるという反面(金杉台)、御滝では、部活動の種類が多い、特別支援学級がある等、人数が多いからこそできる行事等も多々あり、良い経験ができるのではないかと思います。統合を互い、前向きに考え、進めて行くことがベストであり、必要な時代の流れかと思えます。一番大切なのは、子供にとって良い方向に進んで行くこと。(もし統合した場合、金杉台中は、どうなってしまうのか、そこも、気になります。)</p>
<p>人と沢山関わることによって色々な価値観をそれぞれ持っていることを知ることができます。人数(生徒数)が多いと先生方もたくさんいます。目がたくさんあることはとても良いと思います。</p>
<p>生徒数の違いが大きすぎる。統合して教室や給食室、トイレを直してほしい。パンフレットは詳しくてわかりやすい。御滝中の通学区の広さを変更して金杉台中学校以外に通えるようにしたら生徒数の偏りがなくなると思う。</p>
<p>生徒数の今後のことを考えると統合した方が良いのではないかと思います。</p>
<p>選べる学区を作ったり、きょうだい、部活などを理由での越境がある、この時点で、いずれこうなることはまぬがれないと思います。合併も仕方がない、いずれ…とっており、そうなった場合は受け入れる覚悟です。そのときがたまたまこのときだったと思おうと考えると思います。</p>

<p>中学校に進学するにあたり、小学校時代からの友人と同じ学校に行くことを希望するのは必然で、なおかつ部活動も選択肢が沢山ある御滝を選びました。金杉台中の生徒も仲間達と楽しく過ごしているのですが、部活の選択などで、才能を開花させられていないのではないのでしょうか。統合を要望します。</p>
<p>中学生が中学生らしく生活できるであろう(たくさんの仲間と出会い、刺激を受けながら学校生活を送る)環境に通わせることに迷いはなかった。逆に少人数の金杉台中学校区であったら、御滝中へ通えるよう、申請したと思う。通学に不便はないと思うので、統合すべきだと思う。</p>
<p>仲良し、もしくは同じ出身校の友達と中学生生活をスタートさせたかったのですが、学級数が多すぎてまったく知らない人ばかりの中でのスタートになり、けっこうなストレスでした。入学式も立ち見以上に満員電車並みで近場に別の中学があるならば、それこそ、通学圏内や、出身小学校で人数を流したらいかがですか。子供の行事等で学校へ出向いても、人が多すぎて何も得られないです。</p>
<p>統合した方が良いと思います。</p>
<p>統合するのは反対です。いじめっ子がいる学校と統合するのは本当にイヤです。</p>
<p>統合というより分ければよいと思います。学区毎に。金杉台団地側は必ず金杉台中と。そして部活の団体も作れば良い。御滝中に遠くから来ている子を見ると大変そう…と思う。距離に差がありすぎ。</p>
<p>統合は時代の流れの中やむを得ない。統合後の金杉台中学校の建物を有効に活用されたい。</p>
<p>特にありません。</p>
<p>特にない。</p>
<p>特になし。</p>
<p>未来のことを考えても、金杉台中学校は統合が望ましいと思う。生徒数、学級数においても少なすぎ、3年間、決まった人たちの間でのコミュニケーションしか取れず、先のことを考えると、多数の人と関わり、切磋琢磨^{せつさたくま}し、大切な3年間を過ごし、高校へ行っても多くの人との出会いに臆することなく学校生活を送れる様にしてあげてほしい。</p>
<p>両方の良さ、そうでないところを見てきました。これ以上御滝中の人数を増やすことに利点があるのでしょうか。御滝中は多すぎ、金杉台中は少なすぎです。御滝中に通うより金杉台中の方が近い子もいます。新しい家も建ってます。金杉台中の存続ができる方向性を見つけてほしいです。</p>

(3) 【金杉台小学校在籍】(様式 B: 金杉台小学校対象)

きょうだい金杉台中を卒業しているので、下の子供も何も考えず金杉台中と
思っていました。あまりにも生徒数が少ないのなら御滝中と考えています。このよう
に選択をするのではなく逆に一つにしてほしいです。それ以前にもっと数年前から選択な
どをなくして、地域性を考え、線引きしてほしいです。

金杉台中がなくなるのは悲しい。でも現実、子供の環境を考えたら御滝中の方がい
いのかも、でも子供は金杉台中に行くものと思っているので人数によって話し合っ
ていきます。

きょうだい金杉台中学校を卒業したが、あなた方がさかんに言っているようなデ
メリットは何一つなかった。高校生になり、むしろ少人数で学べてよかったと今でも
言っている。あなた方は「子供たちのため」と言っているが、説明会・今回のアンケ
ート等、大人の都合で少人数のデメリットしかあげていない。「統合」ではなく、「市
内に一つはこういう学校があつていい」となぜ思わないのですか。御滝中になじめな
い子供は、逃げ場がなくなりますね。御滝中は現在 8 学級ですか。既にマンモスです
ね。子供の人数だけを言うなら、金杉台中の生徒数を増やすよう学区を見直して下さ
い。「選択」もなくせばいいではありませんか。何でも大人数が良いわけではありま
せんよ。教育のプロのあなた方なら承知だと思いますが。

きょうだいは金杉台中に通っていますが…この状態が続くなら、統合すべきです。
子供の活動力が低下してしまいます。

この議論が今回十分になされて、今後少なくとも 10 年位は決定がゆるがないこと
をのぞみます。金杉台中学区が現状だと数年単位で子供が微増したり…と以前うかが
いしましたが、今回先のばしにしてまた数年後も 1 から調査スタートではもったいない
と思いました。

公立なのだから、子どもが「部活 3 年続けます」のような書面を入学前に提出して
学区変更…なんていうのはおかしいと思うので、子どもが要らぬ悩み、負担かかえず
に済むようにしてほしいです。

こんなに近くに 2 つも中学校があること自体がおかしい。全てにおいて税金のムダ
だと思う。1 つの学校を運営するお金を他のことに使うべき。1 クラス十数人しかい
ない環境を 3 年間続けて、高校に進学したときに対応できないと思う。母校をなくし
たくない人たちが反対しているだけだと思う。周辺の学校がみんな少ないなら理解で
きるが、すぐ近くの学校は多くの生徒がいるなんておかしい。金杉台中学校をなくし
たくないのなら学区を全面的に改革すべきだと思う。あまりにも差がありすぎる。

スケールメリットを唱えるだけでなく目の行き届いた教育ができる少人数の学校は
むしろこれから求められる姿なのではないのでしょうか…。8 人に 1 人が不登校とな
る時代、大人数にする必要はないと思います。

<p>ぜひ統合してほしいです。金杉台小にいて中学との合同はとても小学生の活動の妨げになっていたと思います。中学生は中学生同士、小学生は小学生でしか活動できないところを金杉台中の枠で少なくしないでほしかった。小学生の活躍の場を中学生にじゃましないでほしかった。一生に一度しかない大切な場を…。</p>
<p>パンフレットの数字を拝見して、社会性や多様な考えなどの観点からも、早いうちに統合した方がいいと思います。</p>
<p>よく聞く意見は、少人数の方がいじめや勉強をよく見てもらえると聞きますが、人数に関係なくいじめはおこると思います。勉強も本人のやる気次第だと思います。大勢の中で自分の考えを発表することなども成長していく中で大事な経験になると思います。</p>
<p>一生懸命頑張っているスポーツがありまして(両中学校にはない)統合が決まっているのであれば、変更基準に満たさないの基準を緩和していただきたい。下の子もいますので、今のところ本人も御滝中学校を希望しております。</p>
<p>希望として、本人の意思もあるので、金杉台中学校に進学させたい。現在、きょうだいの金杉台を希望している。本人としては管弦楽ではなく吹奏楽をやりたいがっているため。</p>
<p>金杉台小卒業の子は金杉台中へ進学するようにすればよいと思います。そもそも選択可能学区があるのがいけないと思います。地域性や個々の事情を考慮し選択可能とありますが、地域性とは何でしょうか。個々の事情があるならば、変更制度を個々で申請すればよいでしょう。市が、ご親切にどちらでもよいです。どちらにしますか？と聞くから皆御滝中に行くのでしょうか。</p> <p>御滝中は生徒数多くて何も問題がないのですか。立派な金杉台中学校があるのですからそちらに行く様にすればよいだけです。廃校にするのは反対です。</p>
<p>金杉台中と御滝中の生徒数にあまりに格差、開きがありすぎるので、選択地域などの区分をせず、均等になるように、単純に学区を決めてしまえばよいと思う。そうすれば、おのずと金杉台中も生徒が増え、部活動や学業等、活性化するはず。</p>
<p>金杉台中の学区を選択制や学区内でも面談によって転校が可能な限り、御滝中学への子供の流出は減少しないと思います。生徒を個別的に見ることが出来る環境はすばらしいと思いますが、統合への流れは先生の人員確保の面やコスト的にも仕方ないと思います(今後の生徒数の減少を考えると)。</p> <p>金杉台中を残すのであれば学区を広げそれを厳格化しなければ難しいのではないのでしょうか…。(既出の意見だとは思いましたが書かせていただきました。)</p>
<p>金杉台中の子供たちの素朴な感じがよいと思っています。下にもいますので金杉台中がなくなってしまうとさびしいです。</p>
<p>金杉台中の生徒数は少なすぎる。御滝中と統合、もしくは金杉台中の学区を広げるなどすることが望ましいと考える。</p>

<p>金杉台中は人数が少なく不安を感じて話題にしたりしていましたが、統合が決定事項としてつきつけられたのには少々驚きました。P4の通学区域に指定学区と選択学区がありますが、金杉台中の指定学区が何故こんなに狭いのか？と単純に疑問です。御滝中との選択学区は近隣の選択学区と見比べても広すぎると思いますが…。いきなり統合を決める前に指定学区を見直してもよいのではないのか？と考えます。</p> <p>金杉に転居してきて10年になります。この10年で住居がかなり建ち人口も増えているように感じるのに、この学区全てを御滝中だけで受け入れられるのでしょうか。</p>
<p>金杉台中学校の少人数に魅力を感じ引っ越してきたが現在の金杉台中学校の人数があまりにも少なすぎて、いじめがあったときの逃げ場がない。3年間クラスが同じであることで、のんびりしすぎて競争意欲が見受けられない。体育祭などを見ている活気がない様子で非常に残念に思いました。少人数であることで、勉強、高校受験対策もしっかり見てもらえると期待していましたが、とっても残念です。</p> <p>逆に御滝は人数が多すぎて先生も目が行き届いているのかどうかがとても不安です。</p> <p>金杉台と御滝が、真逆すぎるためどちらを選択してよいのか悩んでしまいます。学区をしっかりと区切って金杉台の人数を3~4倍に増やすことはできないのでしょうか。</p>
<p>金杉台中学校の存続は反対です。生徒数が減少しても建物の維持費、人件費等支出はあります。大事な税金はコミュニティー施設や高齢化に向けた施設等に充てていただきたいので、跡地をこのような施設を作るということには賛成です。また教育の面でも大事な人間としての基礎づくりには大人数の中でたくましく育ててもらいたいという思いもあります。</p>
<p>金杉台中学校へ行きたいと思っている生徒も多いと思います。ただ部活などが少ないため、御滝中を希望している人がいるのも現状です。金杉1~9丁目は金杉台中学校指定にした方がいいと思います。二和1~2丁目も。指定となれば迷うことなく進学します。金杉台中に人数が増え、部活も増えるのではないのでしょうか。逆に御滝中は多すぎる人数を減らすことができ、先生も1人1人に目が行き届くのでは。</p> <p>これを変えることができるのは市や教育委員会だけなので両方を残しよくしていく取り組みをお願いしたいです。</p>
<p>現在住んでいる地域が選択地域のため、最終的には子供の意見(気持ち)を尊重しようと思っていますが、今まで様々な場面で小中連携を取り組みたくさんの刺激を受けたという背景もあるので、学校統合となり小中連携がなくなるというのは正直寂しい面もあります。</p>
<p>御滝中の人数が多くて先生の目が生徒に行き届いてないと思います。</p>

<p>御滝中は先生からのいじめ、子供たちによるいじめが多いと聞く。私自身も御滝中の卒業生だが、当時から先生同士での派ばつ争いや不登校も多く、決して人数が多いから部活も活発だから。という理由でよい学校だったとは言えないと思う。それに、学区を広げる「選択」はないのだろうか。元々は、この狭い地域に小中学校を作りすぎた船橋市に問題がある。生徒数が(入学生が)0になるまで、存続させるべき。選択地域は全て金杉台中学校にすべき。一部御滝中の真裏の金杉5~6丁目だけ選択にする。理由、中学に近すぎるから。</p>
<p>御滝中学校の通学区域が広すぎる。選択地域の幅を狭め、金杉台中学校指定学区を増やすべきだと思う。地理的課題は少ないかもしれないが、御滝中の中身を見ると夏休み前時点で1クラス人数の子供が不登校と聞く。人数が多ければよいとは思えず、不登校児への対応や授業の進め方等先生が多くいても対応がしきれていない現状がうかがえると思う。</p> <p>金杉台中学校は他校では経験できないことが多くある。データを出してみただけでなく少子化社会はこの地域だけの問題ではないので、まずできることから試してみて統合するかどうか決めていってほしいと心から願います。</p>
<p>子供にはいつ意見を聞くのでしょうか。一番不安に思っているのは子供です。教育をする機関という自負があるのならば本人たちと対することくらいたやすいのでは。それとも教育をするのではなく押し付けをする機関なのでしょうか。それとも一部の子がこう言っているからみんなもこうしましょうと教育するのですか。それは「良い人間をつくる」ということなのでしょうか。</p> <p>子供に対して、教師の数が割に合わないのはよくわかります。なら、御滝と協力校として教室に入れない御滝の子を金杉台で受け入れる等できないのですか。中学校を卒業できない(真の意味で)子供の将来を3人程度でも助けられれば税収的にはマイナスとは言えないのでは…。</p>
<p>指定学区の見直しを早い段階でしていれば金杉台中も御滝中もバランスよくなっていたのではないかと思います。人数があまりにも極端すぎるのでどちらの学校に通ったにせよ子供たちが少ないなら少ないなりの、多いなら多いなりの苦悩を感じると思う。</p>
<p>指定学区をもっと増やせばいいのでは。選択をなくしてしまえばこんな問題は起きないはず。こんなことをしていたら、いつか、御滝中学校がパンクするのが目に見えている。教室が足りなくなったら、またお金をかけて教室を増やすんですか。</p>
<p>児童が少なくなっているのは誰でも感じているはず。早いうちに統合してもらえれば子供たちも、覚悟できるはず。高学年になってからだと迷いになって決められずにいる。親から見たら統合に賛成します。</p>
<p>小学校との連携がある中学校は数少なく、なくしてはいけないと思います。課題はたくさんあると思いますが、まずは統合についてを話し合う前に金杉台中学校がなくならないためにはどうすればいいのかを話し合い、提案が必要だと思います。</p>

<p>選択学区ではあるが、金杉台中を選択しようと思えない。人数、学級数の問題が大きい。やはり、多くの人たちとコミュニケーションを取り、たくさん刺激を受け学問もスポーツも学んでいってほしいと願う。</p>
<p>選択制をなくしてください。金杉台中学校に進学を希望しているお子様がいる限り金杉台中の受け入れをやめることはできないと思います。</p>
<p>選択地域にせず、ここからここまでは金杉台中、御滝中と分けた方がいいと思う。</p>
<p>選択地域を金杉台中の指定学区にしてほしいです。</p>
<p>全員同じ質問項目でしょうか。学校や学区ごとに異なるアンケートを使っていますか。もしそうであれば意図的にある回答を集めることが可能です。それを地域の保護者の意見として扱うことは不適當です。</p> <p>自由記述については、教育委員会が「調査の目的に直接関係ない」と判断して握りつぶし、公表しないことが可能ということですね。教育委員会は信用されていないのですから、少しでも信用されるように、個人情報に関する部分を除き全て公表すべきではないでしょうか。</p> <p>(※以下添付された別用紙に記載)</p> <p>このアンケートにはいくつかの重大な問題があると考えます。</p> <p>第一に、アンケートをとるにあたって正確で十分な情報が与えられていません。添付されたパンフレットの内容にしても、パンフレットで参照を指示されている市のホームページにしても、今までの説明会で参加者から寄せられた意見や問題点について、きちんとした納得行く説明がなされていません。特に、船橋市および船橋市教育委員会の定めた基本方針に根本的な問題があると指摘されているのに、それに回答することなく放置しているだけでなく、そのような指摘がされていることさえ取り上げていません(議事録に目を通さなければ問題を指摘されていることさえわかりません)。現在では、例えば手術の同意をとるにしても、インフォームドコンセント、つまり十分説明して理解してもらったうえでの同意でなければ有効にはなりません。このアンケートについては、正確で十分な情報を理解しやすい形で提供するという基本的な手続きが欠けていますので、何かを決める根拠として無効ですし、それでも無理に進めようとするなら詐欺的行為になると考えます。</p> <p>第二に、アンケートの質問内容などが非常にバイアスがかかっている不適切だと思います。特にQ5の選択肢には問題が多いと考えます。</p> <p>「先生が多いから、多様な視点で見てくれる」</p> <p>「先生が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い」</p> <p>果たして実際はどうでしょう。一方的な思い込みのあるステレオタイプの考えに基づく選択肢ではありませんか？数のみでは多様性は確保されませんし、多くの先生が画一的な見方しかしない例も経験しています。また、教育委員会の関係者の方々は、</p> <p>(次ページに続く)</p>

(前ページから続く)

一人で一つの見方しかできず、少人数でも画一的な見方しかできないのかもしれませんが、ふつうは一人の人間のなかにも複数の見方が併存しているのではありませんか。優秀な教師で一人でも多様性を発揮している方も知っています。したがって、このアンケートは意図的に想定した結論に導く目的があるとは思えません。自由記述の欄を設けることで逃げ道になると考えているかもしれませんが、自由記述の結果は統計結果の数字としては扱われませんし、今までの教育委員会のやり方からすると、数字に表現されないアナログな結果で教育委員会の方針に合わない意見は無視するのが常套手段ですから、自由記述の欄をもうけたとしても選択肢の不適切さを帳消しにできるものではありません。

第三に、配布先にも問題があります。私の知る限りでは、御滝中学校のみを通学区として指定されている区域は配布されていないということです。通学先として金杉台中学校を希望していたのに、「通学指定校変更基準」(大きな問題のある基準ですが)を満たす理由がないために、しかたなく御滝中学校に進んだお子さんが実在します。仮に御滝中学校の生徒数が10人減っても誤差の範囲内の微減なのかもしれませんが、金杉台中学校の生徒数が10人増えるなら大幅増です。金杉台中学校の生徒数を増やす手段はいろいろあるのにそれは頑なに行おうとせず(意図的に減らそうとしている?)、今後は生徒数が減る一方という見方に固執していると今までも指摘されていましたが、この配布先の偏りもその一環であるとは思えません。

したがって、このアンケートの結果に有効性はないと考えますので、このアンケートに協力することはできませんし、実施するにあたって発生する人件費などの諸経費で、私たちの払った税金から無駄遣いをするのは止めてほしいと考えます。

他市に住んでいる友人から「船橋の教育はすごい」と言われたことがあります。「すごい教育」とは公立校において言うと、優秀な生徒を一人輩出することではなく平均的に皆ができることを言うものと理解しています。皆ができるようにするためには現代社会において、多様性が鍵を握っていることは言うまでもありません。児童数が増ければ多様性が確保されると教育委員会ではお考えの様ですが、私はそうは思えません。

次回パンフレットに不登校児割合を金杉台中と御滝中で対比していただきたいものです。正直御滝中のウワサって良いものありませんよ。ウワサで決めるなって話かもしれませんが、教育委員会の提示しているデータも正直都合のいいことばかりでウワサのレベルより低いと思います。

<p>通学指定校変更制度は見直した方がいいと思います。部活動選択というレベルで学校を変更するというのは理解できない。指定の学区で行かせるべき。その結果、金杉台中の人数が激減することにつながっていると思う。選択区域を広げるのも同様。意味がわからない。減らすではなく残していく方向で考えていくべき。変更の内容レベルが甘すぎる。</p> <p>上の子が金杉台中に通っているが、すごくいい人間関係(友人、先輩、先生方)の中で充実した生活を過ごしています。その中でいい刺激を得たり、切磋琢磨^{せつさたくま}して頑張っている。人数が多い少ない関係なく、その環境は得られています。つまりその子次第。下の子も金杉台中の進学を望んでいます。</p>
<p>統合した方がよいと思います。</p>
<p>統合することはいいと思いますが、御滝中の受け入れはスムーズに行われるのか心配です。教室の数、1クラス当たりの人数等、統合した場合どうなるのか少し気になります。今後データ等を資料として配布していただくと安心できます。</p>
<p>統合するならば、それでよいと思います。</p>
<p>統合する必要はない。いじめっ子がいる中学にはいかせたくないなので統合するなら3~4年先にしてほしい。</p>
<p>統合する必要はないと思います。うちが中学卒業するまでしてほしくないです。</p>
<p>統合ではなく、高根小、金杉小、二和小の一部などから、金杉台中学区へするのが良いのではないのでしょうか。もちろん、このまま少人数でも、それはそれで良さがあるのでいいと思っています。</p>
<p>統合については反対です。御滝中は今でも人数が多すぎパンク状態なのに、統合したらどうなるんでしょうか。選択できる地域をなくし、おおよそ半分の人数になるよう地域を分ければ…と思います。クラスが学年4~5クラスになれば、部活動もそれなりに増え、あの部活があるからないからということも多少改善されるのではないかと思います。</p>
<p>統合について反対する人がいるのもわかるが、少人数のために多額の運営費をかけるのはもったいない。御滝中の改修もしくは建てかえにまわせばいい。統合するかしないか早く決めないと途中で転校とかはかわいそうなので、早急に決めて知らせてほしい。</p>
<p>特にありません。</p>
<p>廃校にならない様に重要性を載せた方がよいと思う。</p>
<p>部活動も少なく、人数も少ない、なぜ残しておくのかわかりません。少人数のために先生、経費を使っているのはとてももったいない。</p>

保護者説明会、2度の地域説明会に出席していますが、そこで出ていた保護者住民からの意見が全く反映されていないパンフレットに愕然^{がくぜん}としています。対話とは、Aという意見とBという意見が出たとき、互いにA' やB' を出しつつ、できればCに止揚していくものだとして理解していましたが、教育委員会のAという意見はAから全く変化していませんね。

文部科学省が進める「対話的で深い学び」が船橋市教育委員会のもとでどのように実践されるのか非常に興味深いです。現場の先生方が、手さぐりしながらなんとか進めていく、先生によってできることに差がある…という風にならないことを祈ります。

地域説明会等で、当事者にアンケートをとってくださいと、私も強く求めた一人ですが、私としては、弊害ばかりが心配されている少人数教育を現に受けている金杉台中学校の生徒、教員に実際に弊害があるのかどうかを聞いてほしかったし、そのように伝えたいつもりです。うまく伝わっていませんね。

今回のアンケートに対しては、これから進学する保護者の不安を解消することで、御滝中への進学を誘導しようとしているのか…。とつい勘ぐってしまいます。少数意見の切りすてだけはしないでくださるようお願いいたします。

(4) 【高根小学校在籍】（様式 C：周辺小学校対象）

<p>きょうだいが通っている最中に統合となるのが嫌だし、少人数の小学校に通ってきたため、中学校では大きな集団の中で養ってほしいものもあるので御滝中にしようかと考えている。しかし御滝中での不登校やいじめの問題も耳にしているので、先生方の人数をふやすなど体制と見る目の強化を図っていただき、特に統合直後の人数がさらにふえる時期に無用な問題が起きないようにしてほしい。</p>
<p>金杉台中学校が減ってしまっていること、パンフレットで知りました。御滝中学校と統合した方が良いと思います。教室がかなりきつきつになってしまうと思うので、1組増やして、のびのびと授業受けられる方が子供は良いと思います。</p>
<p>金杉台中学校の良さがあります。現在通っている在校生の声を聞いてあげてください。御滝中の選択学区になっているところを、金杉台中指定区に変更し、生徒数を増やすことはできないのですか。選択になっているから御滝を選ぶ子が増えて当然かと思えます。大人の都合ではなく、子供のための学校です。市の財政どうのよりも地元の子供のためを考えていただきたいです。</p>
<p>高根小で過ごしてきて、やはり少人数の学校ですが、学校生活においては、先生方の目も行き届き、とても良かったです。問題はやはり部活動がなく、近所に住んでいても学校が違うことで、やりたい部活ができる子とできない子がいることだと思います。</p>
<p>地域説明会への参加もしたことがあるが、統合するならする、しないならしない、の結論を早く出してほしい。御滝では不登校の児童数が多く、不登校児童への対処も流れ作業的な側面があると聞いている。統合するなら、金杉台中から転籍する児童へのフォロー体制も整え、どの児童も問題なく楽しい3年間が過ごせるよう十分に配慮してほしい。</p>
<p>中学の時期は少人数でいるより大人数の方がたくさんの刺激を受け得ることが多いと思う、少人数はアットホームという考えもあるが、悩むことも大切でそれも種になるのでは…。</p>

(5) 【金杉小学校在籍】(様式 C : 周辺小学校対象)

<p>2校統合できたらよいと思います。御滝にない卓球部を新設できたら良いと思います。</p>
<p>金杉台と御滝を統合するというより、変形にはなりますが、御滝の学区を狭くしてその分金杉台を広くした方が良いのではないのでしょうか。選択を自由にしたら人数が多い方を選ぶだろうし、割りふってよいと思います。御滝はこれ以上増えると教室もないし、金杉台中はきれいなので継続して行ってほしいです。</p>
<p>金杉台中の各1学級しかないのは驚きました。今後も各1学級しかないのであれば統合は賛成です。また、御滝中も、ものすごい人数なので、分散してほしいです。選択にするのではなく、学校を決めてしまう方が良いのではないのでしょうか。金杉台中と御滝中では御滝中にしますが、多すぎるので、先生の目の届かないところもあると思うので、すごく心配しています。</p> <p>本当は高根台中に行かせたいところです…。高根台中に行けるようにも分けてもらいたいです。</p>
<p>金杉台中学校の卒業生です。納税者の身から考えると、税金の有効活用を優先すべきと思います。早急な統合が必要です。母校がなくなるのは、残念ですが時代に合った税金活用が必要。</p>
<p>金杉台中学校は統合すれば良い。</p>
<p>御滝中は既に生徒数が多く、いじめや不登校が多いと聞きます。部活重視で部活内でのいじめは軽視傾向等、漏れ伝わります。対応しきれていない印象です。金杉台中が廃校になってさらに生徒数が増えたときは問題が改善されず、さらに悪化しないよう十分な人員、適した人員を必ず配置してほしいです。自宅から近いので御滝中に通わせますが、正直評判の悪い中学校なので、もし同じ距離で違う中学校があればそちらに通わせたいです。</p>
<p>御滝中学校の指定学区の範囲が広すぎる印象は受けました。三咲駅から八木が谷寄りの人たちは八木が谷中に進学するとか、パンフレットの桃色の地域は選択ではなく金杉台中に進学、又は、金杉町や金杉一丁目など金杉十字路よりは金杉台中に通学区域とする…など御滝中の学区見直しが必要では…と思います。</p>
<p>御滝中学校は人数が多くて、先生が見きれていない印象(不登校が多い)があるので、子供を進学させようと思えない。かといって金杉台中学校の人数の少なさは…という。できたら、金杉台中学校にもっと人数を増やして(学校の活気)ほしい。</p>
<p>御滝中学校指定学区に対して金杉台中学校指定学区は小さすぎるのではないかと。指定学区を広げてみてはどうか。</p>

<p>今回、御滝中への統合について確認しました、統合そのものは賛同しますが、一時的に生徒数が増加する御滝中の人口過密による環境悪化が懸念されます。学区の区分けを見る限り金杉台中学校の学区を広げ、両校の生徒数の平均化も必要かと思えます。</p>
<p>小学校でそうだったように、少人数によって活動クラブが少なく選択がなくなってしまう。また教員の入れ替わりが早く慣れ親しんだ頃その先生は移動といったこともあるように思われた。少人数によるメリットももちろんあるが、そのことにより、教育活動面において、近隣の学校に比べ楽器にふれる機会も少なかったり、クラブや部活動も少なく、習い事をしないと学べないことが多かったのを実感した。その辺りが平等なら少人数だろうが、マンモス人数だろうがあまり気にしなかった。上の子のときからずっと言ってきたが、少人数だからと言われ叶うことはなし。そこが変わらない限り何もならないでしょう。</p>
<p>中学校の話は聞いたこともなかったので、パンフレットの情報は知るきっかけになりました。統合したときに通学にかかる時間がかかりかかる児童が出ないかは気になりますが、統合することは悪いことではないと思います。</p>
<p>中学校進学に関すること、通学指定校変更基準のこと等、目を通してよかったです。金杉台中学校の人数の件は今に始まったわけではなく、ずっと検討されていて問題かと思えます。住宅ができる所、できない所で、人数の問題も変わってきます。現実の問題を見直し、先の先を考えてもらい今後先の選択がより良い方向へ行けることを祈っております。子供たちにとっていい環境、御滝中学校、金杉台中学校おたがい活性化できますように。</p>
<p>統合したときには生徒が増えることになりませんが、教職員数も増えるのか。設備は今のままなのか。細かい説明を聞きたい。小規模のメリット、マンモス校のメリットそれぞれありますので。</p>
<p>統合した場合の教育方針など、明確にメリットとデメリットを詳しく知りたい。</p>
<p>統合するにしろ、しないにしろ、早く決めてほしい。</p>
<p>統合には賛成です。たくさんの仲間と切磋琢磨^{せつさたくま}して成長することが多いと思うので。</p>
<p>特になし。</p>
<p>特になし。</p>
<p>特になし。</p>
<p>不登校やいじめで悩んでいる児童が多い中で、統合して生徒が増える不安があり、先生の目がとどくのか不安。</p>
<p>部活動が少ないので、統合は賛成です。少人数なのは、親としては魅力的だが、子供の視野が広がらなさそうと思いました。</p>

(6) 【三咲小学校在籍】（様式 C：周辺小学校対象）

自由記述なし

(7) 【二和小学校在籍】（様式 C：周辺小学校対象）

<p>パンフレットは良くできていて金杉台中の現状がよくわかりました。読んでみて金杉台中は今はいらないと思いました。1クラス15人なんて…。高校進学したとき、急に人数が増えて圧倒される。対応できない子になりそうで嫌です。</p>
<p>もし統合するようなら、武道館を作るべき、部活も卓球や柔道など増やすべきだと思う。</p>
<p>一親の意見として、金杉台中学校の人数の少なさはやはり改善すべきだと思います。学区を見直して増やすことが、難しいなら御滝中と統合するのが、いいと思います。過疎地でもないのに、異常に少ないのは学区見直しが遅かったからでしょう。</p>
<p>学区も見直した方がいいと思いました。生徒が少ない、友達が御滝に行く→金杉台の子供が減る→部活少なくなる、競い合いが少ない。の悪循環だと思う。</p>
<p>金杉台小が1クラスで仲良くしてきた中に他校から金杉台中へ行かせたいとは思わない。子供も御滝中へ行くと小さいときから思っていたし、きょうだいも行っていたので、金杉台中へは考えられません。</p>
<p>金杉台中の指定区域を増やせばよいと思う。とても良い学校です。御滝中で不登校の問題が気になります。先生が目が届かなすぎてことは明らか。</p>
<p>金杉台中の人数の少なさも問題とは思いますが、逆に御滝中の人数の多さもこれ以上増加すると、先生が目とどかない面が多くなってきてしまうのではないかと心配です。二和小学校だった子が三咲小学区になったように、強制的にある程度は金杉台中へ行くようにし、クラスも3クラスなり多くなれば部活動なども活発になるのではないかと思います。</p>
<p>金杉台中の生徒が年々減少して行き御滝中と統合するのは当たり前だと思います。その分(生徒が増えたら)もっと先生の数を増やして手厚くしてほしいです。</p>
<p>金杉台中を残すために無理やり学区変更とかしないでほしいです。子供も御滝中に行きたいと言っているので、子供のためにもお願いしたいです。</p>
<p>金杉台中学校、とても興味がありますが、閉校(統合)の時期がはっきりしないため、選びづらいと感じております。何年度からなのかははっきりするとともに決めやすいと思います。</p>

<p>金杉台中学校に関しては、人数を見る限りでは存続の危機を感じます。小人数のためいじめなどの発生が少ない？ような利点はありますが、金杉台中に通う生徒は金杉台小だった生徒が持ち上がりで通う傾向を感じるので、他校の生徒が1から入っていくには…の抵抗も感じます。</p> <p>可能であれば御滝中との統合を本格的に検討する時期にあるのではないかと個人的に思います。</p>
<p>金杉台中学校は生徒数が少なすぎるので、子供同士の仲が良ければ楽しそうですが、何か問題があったときに大変そうな気がします。また、高校へ進学後、生徒数は多い学校へと思いますので急に人数が増えうまく順応できるかも心配です。</p>
<p>御滝中は8クラス、金杉台中は1クラス、小人数には小人数の良い所もありますが、クラス替えもなくクラブ数も少ない。統合に向けて話が出ているなら早急に決めてもらいたい。市？の検討などはいつも時間がかかり結局、現在の子供が自分はどちらだろうと不安にかられるだけで、最終的に決まりませんでは子供優先の考えになっていないと思われます。大人の都合で子供は二の次にならない話し合いを求めます。</p>
<p>御滝中は人数が本当に多い。お友達が増えるかもしれないけれど、その分トラブルもあるかなと思っている。金杉台中の小人数なところは長所であると思うので、良い点をそのままにして欲しいと思っています。</p>
<p>御滝中学校との統合は反対です。現在の状況でも教室が不足気味な程、生徒が多く、教室も複雑な程あちこちに広がっています。きょうだいが入学をした際、入学式場に保護者が入りきれず、立見でもぎゅうぎゅう詰めでもとても悲惨でした。式の間中、前の人頭しか見えません。1クラスの人数も多いです。統合するよりも本来金杉台地区の人たちをもっと確実に金杉台中学校に通えるようにした方が建設的だと思います。</p>
<p>今後、本当に生徒数が増えることがないのなら、統合した方が良いと思うが、受け入れる側も余裕があるか、しっかり検討すべき。</p>
<p>時代の変化とともに学校の在り方も変化するべき。なぜ全校生徒数100人にもならない学校を維持するのか。統合しない理由がよくわからない。高齢化がはっきりわかっている地域なので、中学校の統合後は老人施設などに変えれば…と考えてしまいます。</p>
<p>船橋市がいけないと思います。</p>

<p>中学校のことも問題ですが、学区変更で小学校が変更になり、在校生がいるきょうだいは変更しなくてもいいかもしれませんが、そうでない場合は別の学校になってしまうというのは今でも納得できません。</p> <p>制服、体操着、上履き、その他小学校、中学校が変わってしまうとまた買いなおし…。上の子で慣れ親しんだ学校に通えない、お友達と別々なんて本当迷惑です。かわいそうです。親もまた最初からなのは転校してきたわけでもないのに精神的苦痛です。</p> <p>中学校に関しては生徒数の差がありすぎです。金杉台中の推計を見る限り存続するのは不可能じゃないですか。小学校、中学校と変更ばかりするのは、やめていただきたいです。</p>
<p>中学校生活において1クラスで3年間同じクラスというのはどうなのかな?と思う。御滝中は、ピーク時で1学年13学級位あったと思うので、統合していいと思う。1学年20人くらいでは何もできないと思う。近所でも金杉台中に行きたいという人を聞いたことがない。みんな御滝中に行きたいという意見がほとんどです。</p>
<p>統合した方が良い。</p>
<p>統合すると御滝中学校の生徒数が更に増加し、先生が生徒1人1人に目を向けてあげられるのが不安。金杉台中学校の指定学区を増やし、平等になるようにはならないのか。パンフレットの内容は分かり易かった。</p>
<p>統合というよりも生徒数を均等にした方が良いのでは?と思います。御滝中は人数も多く先生の目が届いていないように感じます。</p>
<p>統合に関して反対はしていません。ただ、統合し人数が多くなってしまふことで、教室の数は確保できるのでしょうか。1クラスの数が増えてしまふことで、勉強や先生方の目が子供たちにきちんと行き届くのでしょうか。新しい住宅も増えていきます。子供たちの学校での生活環境がきちんと整えていただければ良いかと考えます。</p>
<p>特にありません。</p>
<p>特にありません。</p>
<p>特にありません。</p>
<p>特にないです。</p>

(8) 【法典東小学校在籍】（様式 C：周辺小学校対象）

<p>1 学級の中学校に魅力は感じない。(部活友人関係等)早く統合するべきだと思う。</p>
<p>1 学年 1 クラスの学校の存続に疑問を感じます。(船橋市において)</p>
<p>そもそも小学校を含め選択区域が存在する意味がわかりません。生徒数に差が出るのは、選択できるからではありませんか。ある小学校では 1 学年 1 クラスで、他の小学校はグラウンドを狭くして校舎を増築している。選択を迫られる方も困惑します。</p>
<p>金杉台中は御滝と統合でよいと思う。近所で金杉台中を考えている人は誰もいないし、金杉台中の近所に住んでいる知人や金杉台団地に住んでいる知人でさえも自らの子を金杉台中に入れたくないと言っている。金杉台中を残す意義がわからない。法典東小のようなマンモス校からなぜわざわざ少人数の金杉台中を選ぶというのか。くれぐれも今後もずっと選択制にしてほしい。金杉台中だけは嫌です。</p>
<p>金杉台中学校は団地内の方が進学するイメージが強く、3校から選択できる地域ではあるが、御滝中か旭中のどちらかの選択で考えている。</p>
<p>児童の人数の調整が必要な時期に来ているとは思いますが、部活などを通じて行きたい中学校が子供なりにあると思う。少人数が金杉台中に移っても子供は不安なだけ、移るなら地区全体でお願いします。</p>
<p>選択学区内だが、金杉台中学校への進学は一度も考えたことはありません。パンフレットを見る限り、統合は妥当だと思います。</p>

《参考》アンケート様式

アンケートの様式及び同封したパンフレットは次のとおり

(1) 様式 A：中学校対象

『金杉台中学校及び御滝中学校の選択理由に関するアンケート』

対象：金杉台中学校全生徒及び御滝中学校を選択※して通学している生徒の保護者（※選択地域に居住する者及び通学指定校申請者に限る）

(2) 様式 B：金杉台小学校対象

『中学校進学に関するアンケート』

対象：金杉台小学校に在籍する4～6年生の保護者

(3) 様式 C：周辺小学校対象

『中学校進学に関するアンケート』

対象：周辺小学校のうち金杉台中学校を選択できる地域に居住する4～6年生の保護者

(4) パンフレット

『金杉台中学校の現状について』

金杉台中学校の生徒の保護者の皆さまへ
御滝中学校を選択して進学した生徒の保護者の皆さまへ

『金杉台中学校及び御滝中学校の選択理由に関するアンケート』

保護者の皆さまには、日頃より船橋市の教育行政に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このアンケートは、金杉台中学校又は御滝中学校への進学にあたり、その中学校を選択した理由や重視した点について、保護者の皆さまの率直なお考えをお聞かせいただくものです。船橋市教育委員会では現在、金杉台中学校に関し、他の周辺校と比べ地理的課題の少ない御滝中学校との統合を視野に入れ、今後のあり方を検討していますが、その重要な資料として活用させていただくことを目的としています。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、金杉台中学校の現状については、別添『パンフレット』に概要をまとめておりますので、ご覧いただければと思います。

令和元年 9月
船橋市教育委員会

～回答にあたってのお願い・注意事項など～

- (1) アンケートは無記名です。お名前のご記入は必要ありません。
- (2) 回答は、保護者の方が、ご記入ください。記入にあたって、お子様と相談いただいても構いません。兄弟姉妹が在籍する場合、お手数ですが、お子様一人につき1枚提出してください。
- (3) 集計結果は統計的に処理し公表します。自由記述については、個人情報やデリケートな内容、調査の目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表いたしますのでご了承ください。
- (4) 提出用封筒にこの**質問・回答用紙**を封入し、**9月27日(金)までに学級担任へ提出**をお願いします。

◎ご不明な点、ご質問は、お手数ですが、下記までお問合せください。

<本アンケートに関するお問合せ>

船橋市教育委員会 管理部教育総務課 企画係 担当 吉村・高木

電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く 9時から 17時まで

メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp

Q1. お子様の在籍校・学年・出身小学校について、該当するものに○を付けてください。

在籍校	金杉台中学校	御滝中学校	
学年	1年生	2年生	3年生
出身小学校	金杉台小学校 金杉小学校 二和小学校 その他（	高根小学校 三咲小学校 法典東小学校 小学校）	

Q2. お住まいの住所は以下のどちらに該当しますか。該当する住所の下の回答欄に○を付けてください。

住所	金杉4丁目 金杉台1丁目 金杉台2丁目 金杉町1191番地9(グリ-ハイツ) 二和西1丁目3番2号~15号、 6番~9番	金杉1丁目~金杉3丁目 金杉5丁目~金杉7丁目 金杉8丁目1番~18番、 24番、25番 金杉9丁目 金杉町(1191番地9を除く) 二和西1丁目1番、2番、 3番1号、4番、 5番、10番 二和西2丁目 二和西3丁目 二和西4丁目1番~9番 二和西5丁目1番~15番 二和西6丁目1番~6番 馬込町1173番地1、 1173番地3~1173番地40	左記 以外
回答欄	↓	↓	↓

Q4. 進学した中学校について、考え始めた時期（意識し始めた時期）はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	小学校入学前から
2	小学校 1・2 年生
3	小学校 3・4 年生
4	小学校 5・6 年生
5	覚えていない
6	特に考えていない
7	その他 ()

Q5. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。
『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。

()

ご協力ありがとうございました。

集計結果は、今後の地域説明会等でお知らせいたします。

金杉台小学校4・5・6年生の児童の保護者の皆さまへ

『中学校進学に関するアンケート』

保護者の皆さまには、日頃より船橋市の教育行政に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このアンケートは、今後、中学校へ進学するにあたり、学校選択に際し重視すること、期待することについて、保護者の皆さまの率直なお考えをお聞かせいただくものです。船橋市教育委員会では現在、金杉台中学校に関し、他の周辺校と比べ地理的課題の少ない御滝中学校との統合を視野に入れ、今後のあり方を検討していますが、その重要な資料として活用させていただくことを目的としています。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、金杉台中学校の現状については、別添『パンフレット』に概要をまとめておりますので、ご覧いただければと思います。

令和元年9月
船橋市教育委員会

～回答にあたってのお願い・注意事項など～

- (1) アンケートは無記名です。お名前のご記入は必要ありません。
- (2) 回答は、保護者の方が、ご記入ください。記入にあたって、お子様と相談いただいても構いません。兄弟姉妹が在籍する場合、お手数ですが、お子様一人につき1枚提出してください。
- (3) 集計結果は統計的に処理し公表します。自由記述については、個人情報やデリケートな内容、調査の目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表いたしますのでご了承ください。
- (4) 提出用封筒に質問・回答用紙を封入し、9月27日(金)までに学級担任へ提出をお願いします。

◎ご不明な点、ご質問は、お手数ですが、下記までお問合せください。

<本アンケートに関するお問合せ>

船橋市教育委員会 管理部教育総務課 企画係 担当 吉村・高木

電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く9時から17時まで

メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp

Q1. お子様について該当するものに○を付けてください。

学年	4 年生	5 年生	6 年生
----	------	------	------

Q2. 通学区域には、住所により、『①金杉台中学校に指定されている地域』と、『②金杉台中学校又は御滝中学校を選択できる地域』があります。お住まいの住所は①又は②のどちらに該当しますか。該当する住所の右の回答欄に○を付けてください。

中学校通学区域		回答欄
	対象の住所	
① 指定学区	※金杉台中学校に指定されている地域 金杉 4 丁目 金杉台 1 丁目 金杉台 2 丁目 金杉町 1191 番地 9 (グリーンハイツ) 二和西 1 丁目 3 番 2 号～15 号、6 番～9 番	➡
② 選択地域	※金杉台中学校又は御滝中学校を選択できる地域 金杉 1 丁目～金杉 3 丁目 金杉 5 丁目～金杉 7 丁目 金杉 8 丁目 1 番～18 番、24 番、25 番 金杉 9 丁目 金杉町 (1191 番地 9 を除く) 二和西 1 丁目 1 番、2 番、3 番 1 号、4 番、5 番、10 番 二和西 2 丁目 二和西 3 丁目 二和西 4 丁目 1 番～9 番 二和西 5 丁目 1 番～15 番 二和西 6 丁目 1 番～6 番 馬込町 1173 番地 1、1173 番地 3～1173 番地 40	➡

⇒この表にお住まいの住所が記載されていない方は、Q6へお進みください

- Q3-1. (この質問は、Q2 の『①指定学区』に該当する方にお聞きします。) 通学指定校変更制度*を知っていますか。該当する番号に○を付けてください。

※通学指定校変更制度については『パンフレット』5～6ページ参照

1	知っている
2	知らない

- Q3-2. (この質問は、Q2 の『①指定学区』に該当する方にお聞きします。) 通学指定校変更の申請をしたいとお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	申請せず、金杉台中学校へ進学したいと考えている
2	申請し、御滝中学校へ進学したいと考えている
3	申請せず、私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校以外）へ進学したいと考えている
4	わからない、これから考える

⇒1 番又は 2 番に○を付けた方は、[Q5へお進みください](#)

⇒3 番又は 4 番に○を付けた方は、[Q6へお進みください](#)

- Q4. (この質問は、Q2 の『②選択地域』に該当する方にお聞きします。) 進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている
2	今のところ御滝中学校を選択したいと考えている
3	私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校以外）へ進学したいと考えている
4	わからない、これから考える

⇒1 番又は 2 番に○を付けた方は、[Q5へお進みください](#)

⇒3 番又は 4 番に○を付けた方は、[Q6へお進みください](#)

Q6. (この質問以降は、全員の方を対象にお聞きします。)

進学する中学校について、考え始めた時期（意識し始めた時期）はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	小学校入学前から
2	小学校 1・2 年生
3	小学校 3・4 年生
4	小学校 5・6 年生
5	特に考えていない
6	その他 ()

Q7. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。

()

ご協力ありがとうございました。

集計結果は、今後の地域説明会等でお知らせいたします。

金杉台中学校の“選択地域”にお住まいの
小学校4・5・6年生の児童の保護者の皆さまへ

『中学校進学に関するアンケート』

保護者の皆さまには、日頃より船橋市の教育行政に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このアンケートは、今後、中学校へ進学するにあたり、学校選択に際し重視すること、期待することについて、保護者の皆さまの率直なお考えをお聞かせいただくものです。船橋市教育委員会では現在、金杉台中学校に関し、他の周辺校と比べ地理的課題の少ない御滝中学校との統合を視野に入れ、今後のあり方を検討していますが、その重要な資料として活用させていただくことを目的としています。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、金杉台中学校の現状については、別添『パンフレット』に概要をまとめておりますので、ご覧いただければと思います。

令和元年9月
船橋市教育委員会

～回答にあたってのお願い・注意事項など～

- (1) アンケートは無記名です。お名前のご記入は必要ありません。
- (2) 回答は、保護者の方が、ご記入ください。記入にあたって、お子様と相談いただいても構いません。兄弟姉妹が在籍する場合、お手数ですが、お子様一人につき1枚提出してください。
- (3) 集計結果は統計的に処理し公表します。自由記述については、個人情報やデリケートな内容、調査の目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表いたしますのでご了承ください。
- (4) 提出用封筒に質問・回答用紙を封入し、9月27日(金)までに学級担任へ提出をお願いします。

◎ご不明な点、ご質問は、お手数ですが、下記までお問合せください。

<本アンケートに関するお問合せ>

船橋市教育委員会 管理部教育総務課 企画係 担当 吉村・高木
電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く9時から17時まで
メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp

Q1. お子様について該当するものに○を付けてください。

在籍校	高根小学校	金杉小学校	三咲小学校
	二和小学校	法典東小学校	
学年	4年生	5年生	6年生

Q2. 通学区域には、住所により、『①金杉台中学校又は御滝中学校の2校から選択できる地域』と、『②金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校の3校から選択できる地域』があります。お住まいの住所は①又は②のどちらに該当しますか。該当する住所の下の回答欄に○を付けてください。

住所	<p>『①2校から選択できる地域』</p> <p>金杉 1丁目～金杉 3丁目 金杉 5丁目～金杉 7丁目 金杉 8丁目 1番～18番、24番、25番 金杉 9丁目 金杉町 の以下[]を除く地域 [890番地 1、 890番地 5～890番地 70、 1191番地 9] 二和西 1丁目 1番、2番、3番 1号、 4番、5番、10番 二和西 2丁目 二和西 3丁目 二和西 4丁目 1番～9番 二和西 5丁目 1番～15番 二和西 6丁目 1番～6番</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>『②3校から選択できる地域』</p> <p>金杉町 890番地 1、 890番地 5～890番地 70 馬込町 1173番地 1、 1173番地 3～1173番地 40</p> <p style="text-align: center;">↓</p>
	回答欄	

Q3. (この質問は、Q2 の『①金杉台中学校又は御滝中学校の2校から選択できる地域』に該当する方にお聞きします。)

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている
2	今のところ御滝中学校を選択したいと考えている
3	私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校以外）へ進学したいと考えている
4	わからない、これから考える

⇒1 番又は 2 番に○を付けた方は、Q5へお進みください

⇒3 番又は 4 番に○を付けた方は、Q6へお進みください

Q4. (この質問は、Q2 の『②金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校の3校から選択できる地域』に該当する方にお聞きします。)

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	今のところ金杉台中学校を選択したいと考えている
2	今のところ御滝中学校を選択したいと考えている
3	今のところ旭中学校を選択したいと考えている
4	私立中学校など（金杉台中学校、御滝中学校又は旭中学校以外）へ進学したいと考えている
5	わからない、これから考える

⇒1 番又は 2 番に○を付けた方は、Q5へお進みください

⇒ 3 番～5 番に○を付けた方は、Q6へお進みください

Q5. (この質問は、Q3又はQ4で、1番又は2番に○をした方を対象にお聞きします。)

Q3又はQ4で、1番又は2番を選択した理由として、あなたの考えにあてはまるもの、又は近いものはどれですか。該当する番号に最大5つまで○を付けてください。

※金杉台中学校と御滝中学校の概要については『パンフレット』3ページ参照

1	親しい友達と同じ中学校へ行きたい
2	自宅からの通学距離が近い
3	兄・姉が在籍している、していた
4	家族や知人のすすめがあった
5	クラス替えがない
6	クラス替えがある
7	体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある
8	体育祭（運動会）や合唱祭などクラス対抗の行事がある
9	部活動の選択肢が多い
10	少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる
11	先生が多いから、多様な視点で見てくれる
12	少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い
13	生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い
14	少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる
15	様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる
16	特にない
17	その他（※ご記入ください） （ ）

Q6. (この質問以降は、全員の方を対象にお聞きします。)

進学する中学校について、考え始めた時期（意識し始めた時期）はいつですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	小学校入学前から
2	小学校 1・2 年生
3	小学校 3・4 年生
4	小学校 5・6 年生
5	特に考えていない
6	その他 ()

Q7. 学校の統合について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

『パンフレット』の内容についてのご意見もお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

集計結果は、今後の地域説明会等でお知らせいたします。

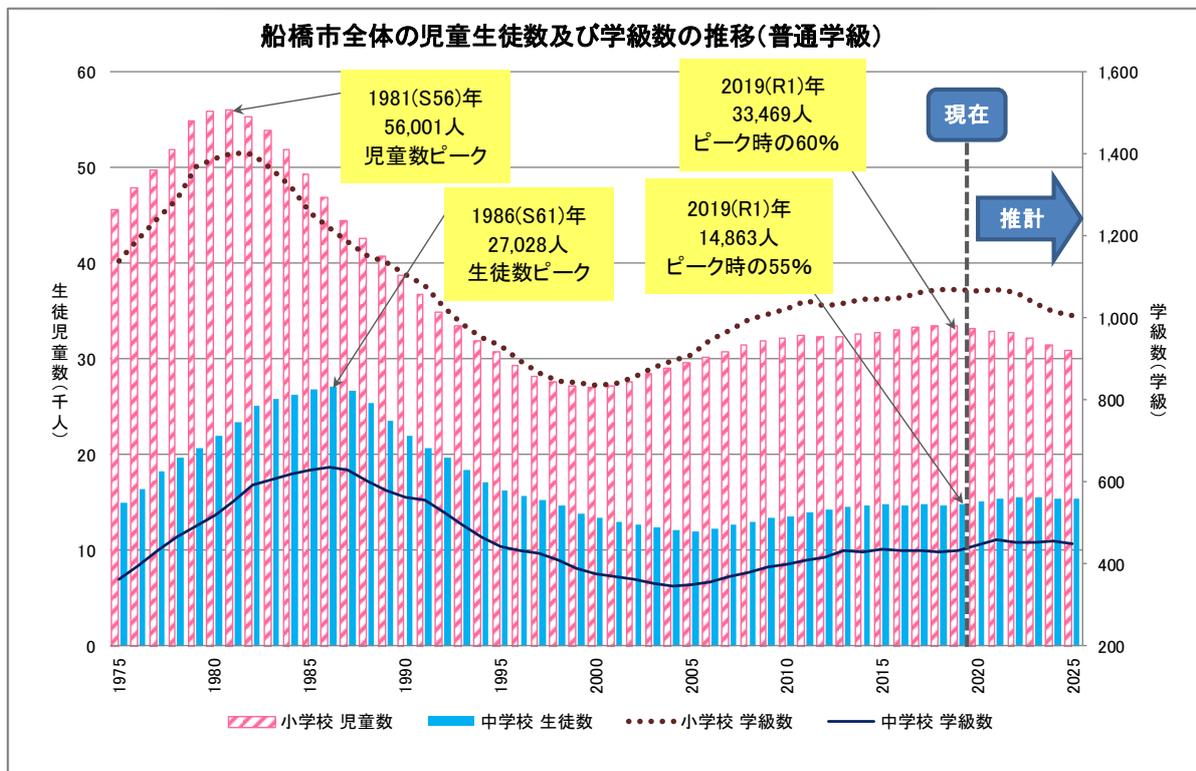
※アンケートにお答えいただく前にお読みください

『金杉台中学校の現状について』

1. はじめに

船橋市では、昭和 30 年代後半から人口が急増し、昭和 40 年代、50 年代に多くの学校を建設しました。本市の児童数・生徒数は昭和 50 年代後半から 60 年代初めをピークとして減少に転じ、その後は少子化が進み、現在では、ピーク時に比較すると約 60%にまで減少しています。

一方、西部・南部地域では、宅地開発等により児童生徒数の増加または横ばいが続く地域もあります。本市の将来人口推計では、15 歳未満の年少人口はさらに減少することから、児童生徒数も減少していく見込みです。

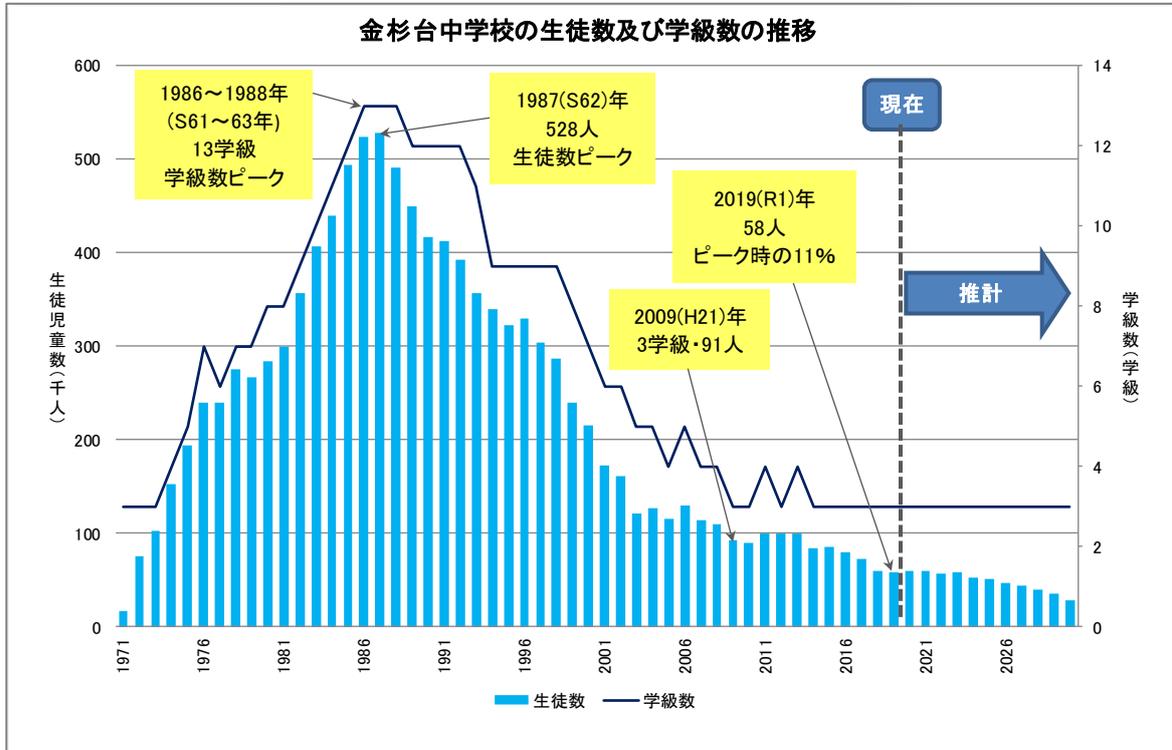


義務教育段階である小・中学校においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて、一人一人の思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けることが重要になります。そうした教育を行うためには、一定の規模の児童生徒数が確保されていることが望ましいものと考えます。

このため、船橋市教育委員会では、「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針（平成 17 年策定、平成 29 年一部改訂）」に基づき、1 学年 1 学級の状況が続き、生徒数もさらに減少が見込まれる金杉台中学校に関し、他の周辺校と比べ地理的課題の少ない御滝中学校との統合を視野に入れ、今後のあり方を検討しています。

2. 金杉台中学校の生徒数及び学級数の推移と今後の推計

生徒数は、昭和 62 年度の 528 人をピークに減少に転じ、平成 21 年度に初めて 100 人を切りました。このとき全学年 1 学級となり、平成 26 年度以降 1 学年 1 学級の状況が続いています。生徒数はピーク時に比較すると約 11%にまで減少しています。



今後の推計においてもその状況は続き、徐々に生徒数が減っていきます。

生徒数・学級数の推計 (令和元年5月1日作成)

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	15	1	19	1	24	3	58
	3	1	25	1	15	1	19	3	59
	4	1	20	1	25	1	15	3	60
	5	1	15	1	20	1	25	3	60
	6	1	17	1	15	1	20	3	52
	7	1	19	1	17	1	15	3	51
	8	1	12	1	19	1	17	3	48
	9	1	13	1	12	1	19	3	44
	10	1	11	1	13	1	12	3	36
	11	1	7	1	11	1	13	3	31
	12	1	9	1	7	1	11	3	27
	13	1	9	1	9	1	7	3	25

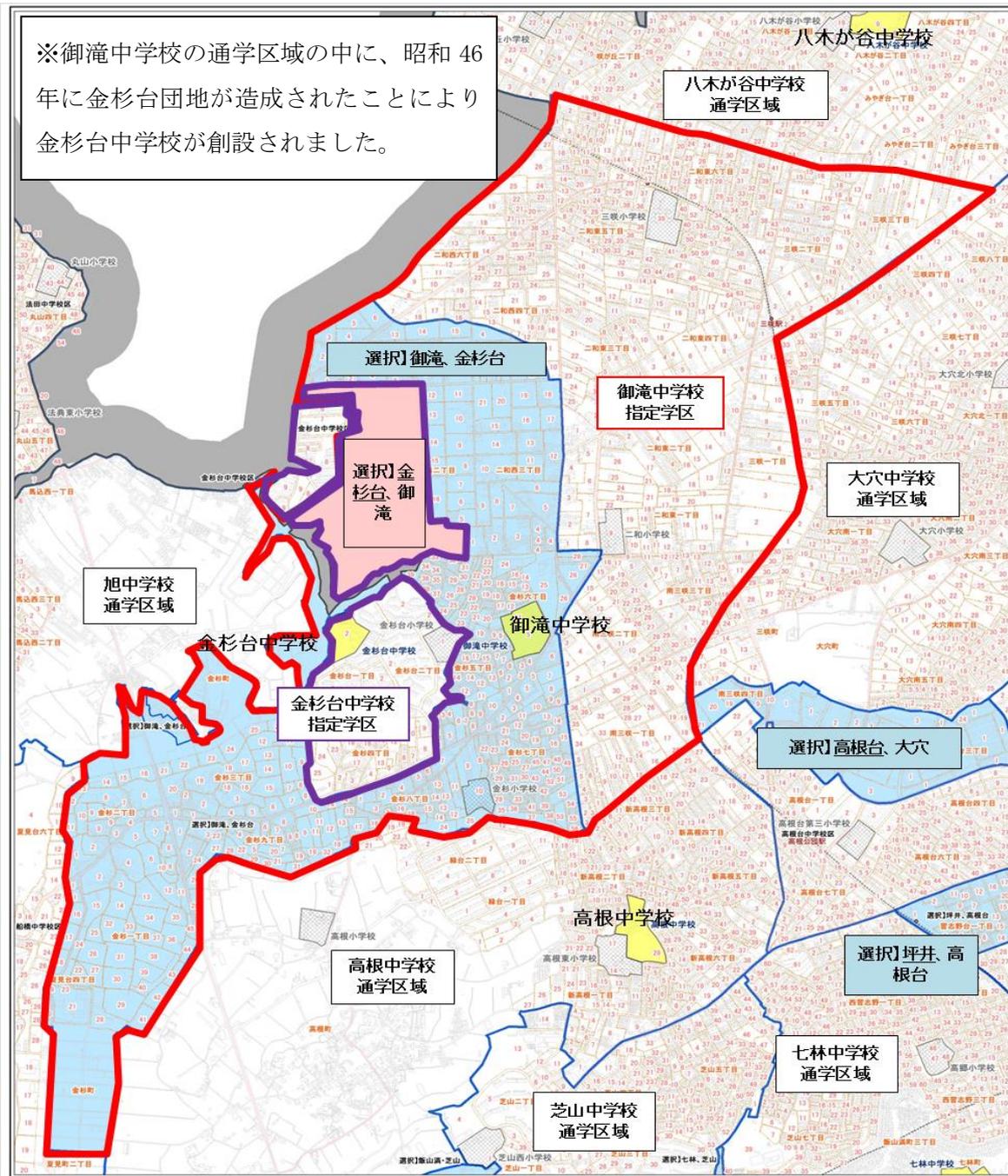
令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

【参考資料】金杉台中学校と御滝中学校の概要（令和元年5月1日現在）

	金杉台中学校	御滝中学校
所在	金杉台 1-2-18	金杉 6-5-1
創立	昭和 46 年	昭和 24 年
学級数(生徒数)	1 年生 1 学級(19 人) 2 年生 1 学級(24 人) 3 年生 1 学級(15 人) 全校 3 学級 特別支援学級なし	1 年生 8 学級(1 学級 平均 38.5 人) 2 年生 7 学級(1 学級 平均 39 人) 3 年生 7 学級(1 学級 平均 35.6 人) 全校 22 学級 特別支援学級 2 学級
生徒総数	58 人	830 人 特別支援学級 10 人 計 840 人
教職員数	12 人	49 人
部活動 ※網かけは、両校にある 部活動です	野球 ソフトテニス (男子・女子) バスケットボール (男子) 剣道 卓球 美術 吹奏楽	野球 ソフトテニス (男子・女子) バスケットボール (男子・女子) 剣道 ソフトボール サッカー 陸上競技 バドミントン (男子・女子) バレーボール (女子) 美術 管弦楽 演劇 家庭科 将棋 パソコン フリーアクティビティ
3 年、6 年、12 年後の 学級数・生徒数(推計) ※普通学級のみ	令和 4 年度 3 学級 60 人 令和 7 年度 3 学級 51 人 令和 13 年度 3 学級 25 人	令和 4 年度 26 学級 918 人 令和 7 年度 26 学級 884 人 令和 13 年度 20 学級 687 人

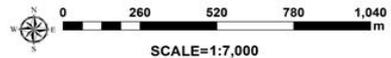
3. 金杉台中学校及び御滝中学校の現在の通学区域（学区）と両校の“選択”状況

※御滝中学校の通学区域の中に、昭和46年に金杉台団地が造成されたことにより金杉台中学校が創設されました。



- <金杉台中学校の通学区域>..... 紫枠内
 - 紫枠白塗 金杉台中学校 指定学区
 - 紫枠桃色 【選択地域】金杉台中、御滝中
 - <御滝中学校の通学区域>..... 赤枠内
 - 赤枠白塗 御滝中学校 指定学区
 - 赤枠水色 【選択地域】御滝中、金杉台中
- ※「旭中、御滝中、金杉台中」の通学区域も含まれています

※選択地域の下線は就学すべき学校です



桃色の地域は、二和小学校周辺の学区変更に伴い、次のように変更となりました。

平成29年度まで

【選択地域】御滝中、金杉台中

平成30年度から

【選択地域】金杉台中、御滝中

①『指定学区』※前ページ図の紫枠白塗部分

法令に基づき、市教育委員会では、あらかじめ各学校の通学区域を設定して、その通学区域に基づき就学すべき学校を指定していますが、地域性や個々の事情を考慮し、以下のとおり指定学区以外の学校への通学を認めています。

②『選択地域』※前ページ図の水色・桃色塗部分

地域の実情等を考慮して、就学すべき学校以外も選択できる地域です。

選択地域からの通学先の状況は以下のとおり、毎年度およそ9割の生徒が御滝中学校を選択しています。

年度	年度別選択者数(人)					平均選択率 (%)	
	28	29	30	1	計		
学校名	御滝	93	66	88	101	348	89.7
	金杉台	8	5	10	7	30	7.7
	旭※	0	0	2	8	10	2.6
計(人)	101	71	100	116	388		

※一部の地域は旭中学校も選択可能 (各年度4月時点)

③『通学指定校変更制度』

兄弟の在籍、明らかに近い、部活動などの特別な理由（次ページ「通学指定校変更基準」参照）があると認められる場合には、通学する学校を変更することができます。

金杉台中学校が通学先に指定されている「指定学区」のうち、平均するとおよそ4割の生徒がこの制度により御滝中学校へ通学しています。

年度	X 金杉台中学校の指定学区※1 に居住する中学校入学予定 者数※(人)	Y 指定校変更者数 (人)	Yの内訳			(Y/X) 変更割合(%)
			部活動 (人)	きょうだ い関係 (人)	その他 (人)	
28	18	6	3	2	1	33.3
29	23	13	12	1	0	56.5
30	21	9	7	2	0	42.9
1	19	7	5	2	0	36.8
計	81	35	27	7	1	43.2

(28・29年度は平成29年3月時点、30年度は平成30年3月時点、令和元年度は令和元年5月時点)
※ 私立、特別支援学級進学者数、海外居住者数を除く

【参考資料】通学指定校変更制度

～通学指定校変更基準～

- (1) 転居予定先の学校にあらかじめ入学、転入学を希望するとき
- (2) 留守世帯であるとき（※小学校に限ります。）
- (3) 児童生徒に身体的な理由があるとき
- (4) 兄・姉が在学している学校を希望するとき
- (5) 通学区域に基づく通学指定校に比べて住居から明らかに近い学校を希望するとき
- (6) 通学指定校に希望する部活動がないとき（中学校に限ります。）
 - ・「徒歩で通学できること」、「部活動を続ける強い意志があり、希望校の部活動の受け入れが可能であること」などの条件があります。
 - ・「部活動が強い」などの理由により、自由に学校を選択できるものではありません。
- (7) 過大規模校から隣接する保有普通教室数に余裕のある学校を希望するとき

※ 上記(5)、(6)の理由による通学指定校の変更は、希望校の普通教室数に余裕がない場合は認められません。また「普通教室数に余裕があるかないか」「過大規模校」については、毎年、児童生徒数の推計に基づいて見直しを行います。

4. おわりに

金杉台中学校の今後のあり方について、これまでの検討状況は市のホームページにまとめられていますのでご覧ください。

＜市ホームページ＞

「金杉台中学校に関する学校規模・学校配置の適正化の検討状況」

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>

「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針について」

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p055056.html>



～ご意見等お寄せください～

＜本パンフレットに関するお問合せ＞

船橋市教育委員会 管理部 教育総務課 企画係 吉村・高木
〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25

電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く 9時から 17時まで

FAX：047-436-2808

メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp